

公益財団法人とよなか国際交流協会

2017(平成 29)年度事業報告について

I. 事業報告 総論

【はじめに】

公益財団法人とよなか国際交流協会(以下、協会)は、「市民の主体的で広範な参加により、人権尊重を基調とした国際交流活動を地域からすすめ、世界とつながる多文化共生社会をつくる」を基本理念としています。とよなか国際交流センター(以下、センター)を拠点として、外国人市民の自立や社会参加に向けた総合的な外国人支援と多様な文化が認められる「場づくり」や差異ある人々との共生のために行動できる「ひとづくり」を推進してきました。ただ、その道のりは平坦ではありませんでした。センターの移転(2010)、指定管理者制度の本格実施(2011)、公益法人への移行(2012)、20周年(ハタチ)記念事業及び指定管理者中間第三者評価(2013)、大阪府公益立入調査(2014)、第三期指定管理者応募(2015)等など、協会にとって次々と大きな課題が押し寄せてきました。しかし、この様々な課題を乗り越えるために、職員・市民ボランティア・協会役員それぞれが持てる力を出し合い、より活力ある協会運営を目指してきました。

特にここ数年は、「アウトリーチで地域とつながって歩む」、「ネットワークで確かな支援の輪を」、「次世代と共に持続可能な共生社会へ」といった基本的な方向性をもとに精力的な事業展開を行うと同時に、役員・事務局が一体となって協会の安定したガバナンスの更なる確立及び事務局機能の強化を図ってきました。そして、豊中における国際交流と多文化共生推進の拠点としてハブ的役割を担えるよう努めてきました。また、2017年度は、センターの第三期(2016～2020年度)指定管理者期間の2年目として、これまでの事業を発展させるとともに新たな事業もスタートさせてきました。

【アウトリーチで地域とつながって歩む】

協会の取組をより広く伝えるため、年次報告書「こくりゅう@home 2016」を作成し、各所に配布しました。また、市の会議等の機会をとらえて説明を行ってきました。特に豊中市社会福祉協議会が実施する「地域福祉ネットワーク会議(全7地域)」、市の保健師会、豊中市民生・児童委員協議会等の場には定期的に出向き、福祉の担い手の方々への情報提供を行いました。

しょうないREKとは協働で「外国人のための多言語進路説明会」を開催しました(庄内公民館)。市民が中心となって実行委員会形式で実施する「豊中まつり」にはダンス出演(豊島公園:曾根)を行いました。また、2016年4月からは市民、千里公民館、千里図書館と協働で日本語交流活動「千里にほんご」(毎週木曜日)を開始しました。

さらに1月には、地域や関係者とのつながりをより確かなものにするため、第2回の「新春のつどい」を開催しました。センター・協会事業の紹介のほか、関係者間の交流を行いました。センター・協会事業の関係者以外にも市役所職員や議員(市議会、府議会、国会)、駐日領事らの参加、近隣の事業者の協力がありました。

こういったアウトリーチを通じて、豊中市内の様々な地域で活躍する人々や団体とセンター以外での取り組みを進めたり、協会・センターの知名度を一層高めることができました。

【ネットワークでより確かな支援の輪を】

センターの登録グループ(25団体)との連絡会議を年5回開催し、「とよなか国際交流フェスタ 2017」を実行委員会形式で開催しました。

地域の間支援団体(5団体)とは情報交換、効果的な情報発信を行うため、継続的に壁新聞の作成を行っていますが、特に豊中市スポーツ振興事業団とは2016年度の引き続き「サムライプロジェクト」として、外国人向け日本の武道体験(柔道、剣道、合気道)を実施しました。

また、府内で活動する国際交流協会と行政担当とのネットワーク「国流ネットワークおおさか」では、月1回程度の割合で会議を持ったほか、防災イベントや研修会、インターンを実施し、課題や課題克服

のための情報交換及びアイデアの交流などを行いました。

府内で活動する外国にルーツをもつ子ども・若者の支援に携わっている団体とは、協働でシンポジウム「外国にルーツをもつ子どもたちの現状と課題に関するシンポジウム」(※実行委員会形式で実施)、「ともに生きるシンポ～多民族社会「日本」のこれから～」(※子どもの夢応援ネットワーク)を実施しました。

さらに、災害時に外国人への情報提供を行うため、公益財団法人大阪府国際交流財団と共催で災害時の多言語支援センター設置の訓練を行いました。引き続き、関係機関との連携を深め、体制づくりを進めます。

その他にも多様な団体との協働や連携によって、個別ではできない活動や支援を展開し、ネットワークでより確かな支援の輪を広げています。

【次世代育成を通じて持続可能な共生社会へ】

現在の日本社会の大きな課題として子ども・若者の課題があります。ニートやひきこもり、そして浮遊する若者の課題は、外国にルーツをもち日本で暮らす若者も例外ではありません。2013年度から実施している若者支援事業をとおして、次世代を担うべき若者を事業につなげ、社会への参加・参画を図ることは重要な社会的課題であり、持続可能な社会を展望する上で欠かせない取組であると認識し、多くの力量を割いて事業展開をしてきました。共に生きるが故の苦悩や喜びを持つ外国ルーツの若者に、同じ背景をもつ外国にルーツをもつ若者に出会い癒され、元気を取り戻すエンパワメントの場を提供しています。この事業は、持続可能な協会&センターの安定した運営にも深くつながると同時に、地域社会を支える貴重な財産となり、多文化共生社会の創生の礎になると確信しています。2017年度は若者支援事業を日曜日に移し、子ども事業(サンプレイス、子ども母語)との連動、「子ども・若者」という大枠で事業展開を行ってきました。

2016年度からスタートした学習支援事業「学楽多(がらくた)」はとよなか国際交流センター及びしようないガダバで実施しており、豊かな学びの場として地域に根付き始めています。体制を充実させるためにボランティア養成講座も実施し、他事業との連携も少しずつ始まっています。

次年度も引き続き、関係各機関の助成金や市の委託、関係機関とのネットワークを通して、次世代育成を通じた持続可能な共生社会作りに取り組みます。

【相談事業とコミュニティ支援】

相談事業では、勝手に離婚され、本人も子どもも大きく人生をくるわされるという相談事例が頻発していることを問題視し、「リコン・アラート(協議離婚問題研究会)※当協会が事務局」では関係機関・団体と連携して協議離婚制度に関する問題点について、情報提供を行ったり、啓発動画やパンフレット、ホームページを作成し、公開してきました。2016年には離婚に関する一日電話相談会(5月)、外国人向けセミナー「日本とフィリピンにおける離婚・再婚の法的要件と手続(7月)」を実施しました。相談事業では他にも、多言語スタッフを中心にコミュニティ作りや日頃の相談対応から感じる課題の解決を目指して外国人向け講座やイベントを企画し、実施しました。

また、2016年度に行った高齢者調査事業の結果をふまえて「Filipino Young at Heart's Club」をスタートしました。月に1回、コミュニティ活動を行っています。

さらに、12月にはフィリピンとの経済連携協定で来日しているEPA介護福祉士候補生に対して、日本語教室を開始しました。

外国人の孤立を防ぎ、地域社会の一員として安心して暮らせるよう、また防災などの観点からも情報から漏れる人が出ないように、今後も相談事業の一環としてコミュニティ支援を進めていきます。

【センター利用者とボランティア】

センターを利用した人は、CCスペースを含めて年間84,755人(昨年と比べ2,082人増)、うち外国人(※)利用者は33,893人で全体の約40%を占めています。年間のセンター利用者、貸室の件数ともに増加しました。利用者数における外国人利用者の割合は、豊中市の外国人割合(国籍では約1.2%)を考えると、目的公共施設としての役割を大きく果たしていると同時に、外国人が積極的に利用している施設であることを示しています。詳しい事業ごとの数字は事業実績詳細のとおりですが、おとな国際事業、子どもサポート事業や多文化子どもエンパワメント事業は、その内容や実施形態も多様なニーズに沿って実施されており、バラエティに富んでいます。今後はより足を運びやすいセンター、参加しやすいセ

ンターを実現するため、ホームページ等を通じた情報発信、施設訪問者に対する掲示物等での情報発信を工夫します。

2月下旬には各事業の担当の市民ボランティアの皆さんとともに事業評価会（全29事業）とランチ交流会を行いました。ボランティア同士の交流の場となっただけでなく、現在の課題や今後の事業展開につながる意見が出されました。多くの市民が多様な活動を支えており、それぞれの事業が相互関係にあることが改めて確認されました。

このほか、より時代の流れに合わせた事業展開を行うため、「学びほぐしシリーズ オキナワを考える」や韓国事情を探る旅を実施しました。

【国際交流と多文化共生のハブ的役割として】

以上みてきたように、協会はアウトリーチやネットワークづくり、若者支援事業を重要しながら人権尊重を基調とした外国人の総合的支援と多文化共生社会推進を担ってきました。1993年来24年間、国際交流活動と多文化共生推進事業を担う法人運営と事業実績をもとに、センターの第三期（2016～2020年度）指定管理業者として事業を展開しています。今後も「多様な文化や人が尊重される豊かで魅力あるまちづくり」の実現のために、より広範な支援活動と地域貢献活動を展開していきます。2018年はとよなか国際交流協会、とよなか国際交流センターともに設立25周年を迎えます。地域で長年活躍してこられた市民活動団体や市民の皆さんと共に、『チームとよなか』の一員として、国際交流と多文化共生のハブ的役割を担っていきます。

⑤協会では国籍だけでなく、外国にルーツを持つ人びとも含めて「外国人」と認識しています。

Ⅱ. 事業概要

Ⅱ-1 事業内容

市民の主体的な参加による人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出するため、次の事業を行った。

Ⅱ-2 内容の詳細

I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 市民主体の国際交流活動推進事業

(1) 情報サービス事業

趣旨：市民の国際交流活動が推進される環境整備をする。

内容：協会やセンターからのお知らせの発行（日本語および多言語）、新聞・書籍・雑誌などの閲覧提供、コミュニケーションボードの設置、ウェブサイト、フェイスブックなどの SNS、メールニュース等を利用した情報発信、無料インターネットなどを提供した。

対象：国際交流に関心を持つ一般市民

主な実績：とよなか国際交流センターのウェブサイト運営。多言語ニュースレターの毎月発行ならびに E メールでの配信、ホームページでの情報提供（日本語、多言語）、フェイスブックでの発信、協会事業のメディアへの掲載、外国語図書ならびに民族衣装や教材貸出 他

(2) 市民活動協働事業

趣旨：市民の国際交流活動が推進される環境整備をする。

内容：市民団体の活動支援のため、とよなか国際交流センター登録グループの連絡会を開催し、市民と共に実行委員形式でフェスタを開催した。また、市民個人及び団体に対して随時相談に対応した他、地域の市民団体と事業を共催、また団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。また、福祉、男女共同参画推進、環境、スポーツ、市民活動、協会の 6 団体で編集して壁新聞を発行し、中間支援組織間の連携を引き続きはかった。その他、「しょうない REK」実行委員会への参加など地域の他団体との協働をすすめ、国際の視点にたった取り組みを行った。

対象：国際交流に関心を持つ一般市民および団体

主な実績：壁新聞の発行、しょうない REK 実行委員会への参加、市民団体の運営協力、市民団体・個人からの相談対応

(3) 留学生ホストファミリー事業

趣旨：市民の国際交流活動が推進される環境整備をする。

内容：近隣の大学と日本学生支援機構大阪日本語教育センターの留学生とホームビジットの形で 1 年間の交流をマッチング、ホストファミリーが参加できる催事を企画、対象者にニュースレターを発行した。

対象：国際交流に関心を持つ一般市民

主な実績：ボランティア登録計 119 家族、留学生と 106 組のマッチング、交流会の実施（年 1 回、参加者総数 114 人）

2. おとな国際事業

(1) にほんご活動事業

趣旨：外国人市民と日本人市民の出会いや交流、双方の関係が結べる機会を提供する。

内容：日本人や外国人の参加者のニーズにあわせた多様な日本語交流活動を行った。また、今年度より新しい日本語交流活動「千里にほんご」を千里連携センターとの共催で開始した。

形態：①もっともっとなつかえるにほんご、とよなかにほんご・木ひる、とよなかにほんご・金あさ、にちようがちゃがちゃだん、千里にほんご

※希望する外国人と研修を受けた日本人による日本語交流活動

②おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

※希望する外国人女性と研修を受けた子育て中の日本人女性による日本語交流活動

対象：日本語活動参加を希望する日本人および外国人

主な実績：①にほんご活動 のべ実施回数 214 回、参加者のべ 7,836 人（うち外国人 3,504 人）

②おやこでにほんご のべ実施回数 100 回、参加者のべ 1,373 人（うち外国人 516 人）

（2）多文化共生推進事業

趣旨：多文化共生のまちづくりを実現するための、市民が参加しやすい様々な学びの場を提供する。

内容：世界の文化について様々な切り口で学ぶセミナーやワークショップの開催、また、地域の外国人が必要な地域情報にアクセスできるよう通訳を養成して派遣を行う。

対象：多文化共生の取り組みに関心のある日本人・外国人

主な実績：「世界を食べよう」（3 回）参加者のべ 49 人（うち外国人 13 人）、「多文化・多言語セミナー」（1 回）参加者のべ 28 人、コミュニティ通訳派遣（4 件）、外国人のための茶道教室（10 回）参加者のべ 119 人（うち外国人 48 人）、国流シネマカフェ（4 回）参加者のべ 86 人（うち外国人 18 人）、武道体験（3 回）参加者のべ 45 人（うち外国人 24 人）等

3. 持続可能な地域づくり事業

（1）メディア・リテラシー市民ゼミナール

（2）持続可能な開発のための教育（ESD）・防災・地域貢献

趣旨：国際化や情報化が進む中、民主的な社会づくりに不可欠な知識・理念・技能を学ぶ機会を提供する。その学びに基づいた行動が地域でできるよう行政や各機関との連携・協働を促す。

内容：①メディア・リテラシー市民ゼミナールでクリティカルな視点を学べる機会を提供した。

②持続可能な開発のための教育（ESD）事業は、ESD とよなか連絡会議に参加し、関係団体との地域課題の共有を行い関係団体の連携について検討を重ねた。また、地域における幼小中高や教職員を対象とした国際理解教育の現場に講師を派遣したほか、地域の人たちの外国人の問題や国際理解・多文化共生等に関する相談を随時受けてきた。また 12 月からは、地域の介護事業所と連携して、EPA 介護福祉士候補者のための日本語指導を協会にほんごボランティアの協力を得て開始している。

対象：外国人及び一般市民

主な実績：①メディア・リテラシー講座の開催（年 1 回）参加者 12 人（うち外国人 2 人）、②ESD とよなか連絡会議への参加。講師派遣 年間のべ 65 件、99 人 他

4. 持続可能な人づくり事業

（1）ボランティア研修事業

趣旨：国際交流活動の担い手育成のため、ボランティア養成やボランティア研修を実施する。

内容：①日本語ボランティア養成講座ならびに多文化子育て支援ボランティアを、現行ボランティアと新たにボランティアを希望する人を対象に実施した。また、日本語ボランティアに興味を持つシニア世代の市民に向けて敬老の日に「シニアのための日本語ボランティア説明会」を実施した。

②哲学カフェを実施し、市民の学びあいの場や自由に討論していくスキルを身に着けるための参加と対話の場などを提供した。

③ボランティア研修事業として、今年度は学びほぐし連続セミナーを沖縄をテーマにして開催した。

対象：国際交流活動ボランティア、一般市民

主な実績：①日本語ボランティア養成講座の実施（3 日間、参加者のべ 102 人）、

多文化子育て支援ボランティア養成講座の実施（3 回、参加者のべ 62 人）

②哲学カフェの実施（3 回、参加者のべ 52 人）

③学びほぐしシリーズ 「あたりまえ」に対抗する “ばづくり・ひとづくり”実践者セミナー「オキナワを考える」（3 回、参加者のべ 114 人）

④シニアのための日本語ボランティア説明会（1 回、24 人）

5. 子ども国際事業

(1) おまつり地球一周クラブ

趣旨：次世代の子どもたちが日本や世界の様々な文化の体験を通して具体的に学ぶことのできるような、異文化理解・国際理解の機会を提供する。

内容：月1回ほど「おまつり地球一周クラブ」という日を設け、地域に暮らす様々な人の協力のもと、国際理解を促す体験活動を実施した。

対象：小・中学生とその保護者

主な実績：「おまつり地球一周クラブ」計8回実施、参加者のべ140人。

(2) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

趣旨：韓国・朝鮮につながるのある子どもたちが、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設ける。

内容：月1回「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」を実施し、民族講師から民族文化について学べる機会を提供した。

対象：韓国・朝鮮につながるのある小学生、中学生

主な実績：「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」の実施（計10回【※ミーティング含む】、参加者のべ172人うち外国人93人）に加え、小学生のハギハッキョ、ハギハッキョキャンプを実施。

II. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1) 相談サービス

趣旨：在住外国人が抱える課題を解決するために相談サービスを行う。また、相談スタッフが中心となって、地域に住む外国人が自国文化を発表する機会の創出をとおしてエンパワメントを図る。

内容：外国人のための一般生活相談および外国人女性専用電話相談を相談サービス事業として実施した。対応言語は日本語、中国語、韓国・朝鮮語、英語、フィリピン語、タイ語、ポルトガル語、スペイン語、インドネシア語、ベトナム語、ネパール語。相談に対応するための多言語スタッフを配置し、相談全体のコーディネートをし外国人相談を受けられる女性相談カウンセラー、および就労相談に対応できるコーディネーターを配置している。別途必要な通訳や翻訳作業も行っている。

今年度も外国人のためのセミナーや、1日相談会を開催したり、外国人が気軽に参加でき、相談につながる場を設けた。また、外国人が日本人配偶者に「勝手に離婚される」問題をうけて、「リコン・アラート（協議離婚問題研究会）」を他機関と協働して運営し、外国人当事者向けの情報発信に加えて、外国人が抱える課題を広く社会に提起する取組みも継続して実施した。

対象：外国人および一般市民

主な実績：①相談受付件数 952 件

②専門家による1日相談会を2回開催（税理士、保健師等）

③機関連携によって、より専門的な対応を可能とした。

④昨年同様、寄せられる相談内容からニーズがあるテーマについて学習会を開催した（参加者のべ90人）

⑤リコン・アラート（協議離婚問題研究会）で啓発パンフレット（29,000部）を配布開始および11言語の動画をWebで配信

(2) コミュニティ活動

趣旨：地域に暮らす外国人のエンパワメントにつながるグループワークの展開、また自助グループの活動の側面支援を行う。

内容：昨年度の大阪コミュニティ財団助成事業「外国人高齢者のための居場所づくり調査事業」をふまえ、今年度より今後急速に高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所づくり「Filipino

Young at Heart's Club(FYAHC)」を試行的に実施したほか、ベトナム人市民による自主的なコミュニティ活動支援、および相談事業を利用する外国人が主体となるお料理会を実施した。

対象：外国人

主な実績：Filipino Young at Heart's Club（9回）参加者のべ153人
ベトナム人コミュニティの集い（卓球など）（38回）参加者のべ190人
お料理会（18回）参加者のべ450人

（3）防災事業

趣旨：大規模災害時における外国人支援の仕組みを市や関係団体とともに構築し、安心・安全なまちづくりのための備えの体制づくりならびにその啓発を行う。

内容：2017年度に豊中市と締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」、大阪大学大学院国際公共政策研究科と締結した「外国人への多言語での情報提供に関する協定」に基づき、豊中市災害時多言語支援センター訓練、地域の防災訓練へのオブザーバー参加、大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議への参加を行った。

対象：職員、外国人

主な実績：豊中市災害時多言語支援センター訓練 参加者のべ34人
火災避難訓練の実施 参加者のべ46人

2. こどもサポート事業

（1）多文化こども保育“にこにこ”

趣旨：「子ども権利条約」に掲げられる権利の主体として差別をうけることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

内容：親の日本語学習と同時間帯に「多文化こども保育にこにこ」を実施し、孤立しがちな外国人家庭の子どもが多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションをとることで社会性を身につける機会を提供した。

対象：外国にルーツをもつ子ども

主な実績：「多文化こども保育にこにこ」のべ90回実施、ボランティアのべ338人、子どもの参加のべ535人（うち外国人535人）

（2）子ども母語教室

趣旨：「子ども権利条約」に掲げられる権利の主体として差別をうけることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

内容：子どもや親のニーズに合わせて中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語の「子ども母語教室」を実施し、外国にルーツを持つ子どもたちが母語でコミュニケーションをとれるよう支援をするとともに、子ども同士の仲間づくりを促進させた。

対象：外国にルーツをもつ子ども

主な実績：子ども母語教室（中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語）4教室あわせてのべ92回実施、参加者のべ251人（うち外国人228人）、4言語合同イベントの実施（計5回、参加者のべ88人）

（3）学習支援・サンプレイス

趣旨：「子ども権利条約」に掲げられる権利の主体として差別をうけることがないよう外国人の子どもに対する支援事業を行う。

内容：外国にルーツを持つ小学生、中学生、高校生への日本語・学習支援を通じた居場所づくり「サンプレイス」を行った。子どものニーズに沿ってボランティアが宿題、日本語、教科の勉強、表現活動などに対応し、子どもたちやボランティアのつながりを深めるための行事や学びの場、企画事業なども行ったほか、子ども相談にも随時対応した。

対象：外国にルーツをもつ子ども

主な実績：サンプレイス のべ37回実施、参加者のべ404人（うち外国人315人）、行事の開催（計7回、参加者のべ63人）

Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

1. 小学校外国語体験活動事業

趣旨：市内の小学生在異なる文化を持つ人の存在を通して国際理解や共生していく姿勢を育むとともに、外国語を使用してコミュニケーションをはかる積極的な態度を身につける機会を提供する。

内容：豊中市教育委員会との協働で豊中市立小学校の3年生から6年生に外国語体験事業を実施した。体験活動を実施できる外国人ボランティアを配置し、事業を運営した。

対象：豊中市立全小学校、3年生から6年生の児童

主な実績：コーディネーター5人、ボランティア登録数56人（24か国・地域）、実施時間総数1,233時間、体験子ども数のべ39,000人

2. 国際教育推進事業

趣旨：豊中市で行ってきた様々な「国際」を総合的につなげるシステムの産出のために、教育資源を共有財産にする学びあい、調査・研究を実施する。

内容：豊中市国際教育推進協議会に参加し、協議を進めた。多文化フェスティバルを共催で開催した。帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会の構成団体として「多言語による進路ガイダンス」を開催した。

対象：豊中市教育委員会および豊中市立小中学校

主な実績：協議会の開催、実務担当者会への参加。「多言語による進路ガイダンス」の開催（年1回、参加者87人）

3. 多文化子どもエンパワメント事業

（1）とよなか子ども日本語教室

趣旨：豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日、といった背景をもつ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

内容：学習のための日本語支援が必要な子どもの指導者育成と教室運営を教育委員会とNPOの連携の中で行った。

対象：外国にルーツを持つ子ども・若者

主な実績：「とよなか子ども日本語教室」の運営を年113回、参加者数のべ2,002人（うち子ども985人、ボランティア1,017人）、日本語相談件数12件

（2）多文化フェスティバル

趣旨：豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日、といった背景をもつ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

内容：外国にルーツを持つ子どもたちと保護者が一堂に会し、多様な文化を共に承認できる場としての「多文化フェスティバル」を青少年と子どもの実行委員会形式で開催した。

対象：外国にルーツを持つ子ども・若者

主な実績：「多文化フェスティバル」参加者計260人（うち子ども200人）

（3）若者支援

趣旨：豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日、といった背景をもつ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

内容：外国にルーツをもつ「若者世代」を対象に日本語サポートや日本語活動を実施して生活の支援を行った。また、今後の人材の養成のためのボランティア・コーディネーター研修も実施した。（文化庁委託【平成29年度『生活者としての外国人』のための日本語教育事業】「外国人の若者の生活力を地域ではぐくむ日本語サポート事業 若者×ちいき×いばしょ〜プログラム」）

対象：外国にルーツを持つ子ども・若者

主な実績：I. ～ほっとにほんご・若者のたまりば～若者×いばしょ

①にほんごde語ろう：年30回（参加者のべ201人、うち外国人200人）

②にほんごde相談：年30回（参加者のべ109人、うち外国人109人）

II. ～つちかうにほんご・地域連携～若者×ちいき

①わかものにほんごサポート：年 15 回（参加者のべ 94 人、うち外国人 79 人）
年 46 回（参加者のべ 328 人、うち外国人 328 人）

III. ～つなげるにほんご・人材養成～子ども・若者日本語支援ボランティア養成講座

①ボランティア・コーディネーター講座：年 5 回（参加者のべ 94 人、うち外国人 23 人）

IV. 外国にルーツをもつ若者主催！ WAKAMONO フェスタ 2017

①外国にルーツをもつ若者主催！ WAKAMONO フェスタ 2017：年 1 回（参加者 8 人、うち外国人 6 人）

(4) てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）

趣旨：豊中市に在住する、在日コリアン、帰国、渡日、といった背景をもつ多文化につながる子どもたちの現状を把握し、そのニーズに対応できるような支援を構想していく。

内容：2014 年度に公益財団法人庭野平和財団からの助成を受けた事業を引き続き自主財源で実施し、「てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト）」として、外国につながる子ども・若者たちの出会いの場を創造するための映像作品を作成した。

対象：外国にルーツを持つ子ども・若者

主な実績：「てーげーコミュニケーションズ（多文化子どもエンパワメントメディアプロジェクト）」映像作品制作会議・編集作業 計 1 回（参加者のべ 7 人、うち外国人 4 人）

(5) 生活困窮者自立支援事業 子どもの学び場「学楽多」

趣旨：教科学習にとどまらず、働くことや生きることにつながるような多様な学びの場、出会いの場を提供することで、子どもたちを支援する。

内容：2016 年度より豊中市の委託を受け 2 年目となり、とよなか国際交流センターとしょうないガダバで学習支援を実施した。教科学習にとどまらず、工作や料理、多文化フェスティバルでのブース出店など、子どもたちが多様な人との出会い、多様な経験を通じて働くことや生きることについて考えられるように取り組んだ。

対象：外国にルーツを持つ子どもを中心に、参加を希望をするもの

主な実績：とよなか国際交流センター、しょうないガダバ合わせて計 95 回（子ども参加者のべ 419 人、うち外国人 187 人。ボランティア参加者のべ 227 人、うち外国人 95 人）

4. 施設管理受託事業

・とよなか国際交流センター貸室業務

・イベント「国際交流フェスタ」の開催及び登録グループの成果発表づくり

趣旨：とよなか国際交流センター貸室業務は定款にある目的を達成するための事業（国際交流の機会提供及び参加促進の事業、国際理解及び国際化に関する啓発・研修事業、国際交流に関する情報の収集及び提供事業、民間団体の国際交流活動に対する支援事業、国際協力に関する事業、在住外国人に対する支援事業など）を推進していく活動ならびに同様の国際交流を目的とする一般市民や利益目的でない限りにおいての一般利用者への貸室業務であり、貸室の利用代金に関する収入は全て豊中市に納付している。

内容：とよなか国際交流センターの国際交流目的利用の市民や一般利用者に対して、公平公正、安全に貸室業務を行った。また、施設利用者への活動発表機会促進と、一般市民への施設や組織の存在意義を提示するために、イベント「国際交流フェスタ」を開催した。さらに視察受入れや、豊中市が中学校を対象に実施する「地域体験学習 CUL(カル)」職場体験の受入れを行った。職員研修も通年で実施した。

対象：一般市民および施設利用者

主な実績：・年間貸室利用者数 60,249 人（昨年度比 2,082 人増）、うち外国人利用者数 24,639 人（昨年度比 1,698 人増）

- ・視察受け入れ（計 13 件、合計 238 人）
- ・「地域職場体験学習 CUL（カル）」職場体験受入れ（計 4 校、のべ 9 人）
- ・「事業評価会」参加者 56 人
- ・職員研修（計 47 回）

Ⅲ. 2017年度事業実績詳細

I. 多様な人々が尊重される地域づくり事業

1. 市民主体の国際交流活動推進事業

(1) 情報サービス事業

◆ニュースレターの発行

日本語版と多言語版に分けて発行した。情報発信を基本的なコンセプトに、以下について毎月掲載した。

- ①協会のミッションとそれに基づく活動を伝えること
- ②在住外国人に関する基礎的情報を提供すること
- ③地域で生活する外国人へ多言語での情報提供

日本語版は「とよなか国際交流センターおしらせ」として、内容はセンター事業を中心にした案内や報告を前面に掲載した。表紙のデザインは、地域の高校との連携推進の一環として、大阪府立池田高校美術部と大阪府立桜塚高校美術部の高校生ボランティアにお願いした。(日本語版：A4版4ページ、フルカラー [96号～107号] 各月1700部)

また、外国人向けには8言語(基本的に英語、中国語、韓国朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)で事業案内や生活情報を発信した。(多言語版：A4版4ページ2色刷り [2017年4月号～2018年3月号] 各月700部)

◆多言語メールニュースの配信

月1回(基本的に毎月第1金曜日)、メールニュース配信希望者には多言語ニュースレターの内容を8言語(英語、中国語、韓国・朝鮮語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語、インドネシア語、ベトナム語)でEメールにて配信した。(2018年2月時点のメールニュース配信数238人)

◆書籍・新聞・雑誌・民族衣装、楽器等の閲覧及び貸出提供

雑誌の提供と収集事業。外国人向けの無料コミュニティ紙、多言語のチラシを配架するなど、言語的マイノリティへの情報提供を積極的に行っている。また、昨年度に引き続き半年毎に約100冊の多言語書籍が豊中市立図書館より団体貸出され、図書館との連携のもと図書館の充実化を図っている。図書ボランティアが図書の整理や書籍名簿の作成に努め、市民が利用しやすい環境を整えた。日本語能力試験等の検定試験受験を希望する外国人のためのサポート用のテキスト等も購入。

◆図書類(外国語図書(絵本)含む)

貸出		貸出件数(件)	増冊		件数(件)
総数		63	総数		91
【内訳】	一般図書	17	【内訳】	一般図書	6
	外国語図書(絵本含む)	46		日本語学習関係	11
	<内>中国語	(22)		辞書類	1
	スペイン語	(4)		絵本(日本語)	18
	ネパール語	(6)		資料	25
	タイ語	(9)		外国語図書(絵本含む)	22
	フィリピン語	(5)		学習教材	8

◆定期刊行物

内容		購入点数(単位：冊)	フリーペーパーなど(単位：誌)
定期刊行物	日本語新聞	3	
	雑誌・機関紙等	1	5
	外国語新聞	4	4

◆民族楽器、民族衣装、民族教材

	民族衣装	民族楽器	民族教材	計
貸出 (件数)	10	3	10	23
購入・寄付 (件数)	20	2	0	22

◆情報交換ボードの提供

情報交換ボードでは、利用期限を区切り自由に個人的な情報交換ができるようにした。また、日本語ボランティア情報ボードも新たに設置し、日本語交流活動で必要とされる情報を提供した。

利用件数：55 件

◆ホームページ

協会のホームページの随時更新（協会の年間ホームページ訪問者数 19,903 件、多言語での情報提供ページの訪問数は 1,212 件）。

主催事業などの新着情報を随時更新した。日本語及び多言語のニュースレターを毎月発行後にホームページ上でも読めるよう掲載した。イベント情報を外国人向けに多言語で随時更新した。新聞記事も随時掲載した。

◆SNS（ソーシャル・ネットワーキング・サービス）

主に Facebook を利用し、毎日の活動の紹介やイベント案内、研修会の報告などをほぼ毎日継続して行った。協会の Facebook ページのフォロワー数 804、「いいね！」数 776（昨年度より 148 増）。

◆ソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」

社会課題に対して「NPO・NGO」「企業」「消費者」の 3 者が協力をしているソーシャルグッド・プラットフォーム「gooddo(グッドゥ)」に参加している。消費者が、目的に賛同する NPO や NGO に寄付で支援できるもの。今年度の支援金合計は 69,755 円だった。

◆プレスリリースの発行：毎月メディア各社向けにプレスリリースを随時発行。

◆無料インターネット利用：132 件（うち外国人 75 件）

◆メディア掲載歴

日時	掲載メディア	見出し／内容
4月27日	毎日新聞（夕刊）	知らぬ間に離婚届
5月5日	毎日新聞	くらしナビ ライフスタイル 無断離婚 外国人被害の背景には
5月22日	読売新聞	外国人離婚電話相談
6月19日	毎日新聞	悩み共有 「社会変える」外国人の子ども白書ワークショップ
10月17日	東奥新聞	外国人介護の時代へ 過酷な労働 声を上げて
10月19日	佐賀新聞	外国人介護の時代へ<中>過酷な労働強いる施設も
10月26日	中国新聞	高齢日本支える外国人介護士
10月20日	徳島新聞	外国人介護の時代へ 労働環境の改善急務
12月24日	読売新聞	比のクリスマス 豊中で飾りづくり
3月2日	毎日新聞	外国ルーツの子に夢を
5月27日	テレビ大阪	外国人のための離婚電話相談会
2月16日	JCOM	外国人のための武道体験

◆取材協力

- 4月4日 毎日新聞社会部
- 4月14日 毎日新聞学芸部
- 4月21日 NHK

◆その他

一般財団法人大阪府人権協会のウェブサイト「リレーエッセイ」コーナーに協会の取組が掲載された。
 (http://www.jinken-osaka.jp/2018/03/h292017_2.html)

(2) 市民活動協働事業

◆イベント「とよなか国際交流フェスタ」の開催

センター登録グループや事業ボランティアによる実行委員会の主催で「とよなか国際交流フェスタ」を開催した。センターで活動する登録グループの成果発表の機会ともした。

実施日時	9月9日(土) 10:00~16:00	場所	とよなか国際交流センター	参加者数	のべ3,500人
内容	<とよなか国際交流フェスタ> ・とよなか国際交流センターで活動する登録グループによる活動発表会 ・市民グループによるバザー・出店、エスニック料理 ・福祉のお店コーナー				

◆市民活動共同デスク

2010年度、とよなか市民活動ネットきずなの呼びかけで、(社福)豊中市社会福祉協議会、(一財)とよなか男女共同参画推進財団、とよなか市民環境会議アジェンダ21との5団体で編集委員会をつくり、『2011とよなか市民活動ガイドブック』を作成した。これを機に、豊中での市民活動がより活性化を図るために「市民活動共同デスク」を立ち上げ、ゆるやかなネットワークによる情報の交換と発信を試みた。その後(公財)豊中市スポーツ振興事業団、豊中市市民公益活動協議体らつづが参加、市民ネットきずなの解散を経て現在の6団体となる。

2017年度は、情報発信の手段として6団体それぞれの活動報告や事業案内を掲載した「壁新聞」(22、23号)を発行した。今年度も共通のテーマ(秋のイベント/2017年度ふりかえりとこれから)を決め、中間組織としての役割に関する記事を掲載するなどの工夫を行った。また、6団体の会議では各組織の持つ情報やマンパワーの活用などについての意見交換を積極的に行った。

会議実施日	内 容 (場所)
4月13日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
6月23日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
9月14日	5団体打合せ(市民活動情報サロン)
11月16日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
2018年1月25日	6団体打合せ(市民活動情報サロン)
3月29日	5団体打合せ(市民活動情報サロン)
壁新聞発行：第22号(2017年8月)、第23号(2018年3月)	

さらに、市民主体の国際交流活動を推進するために、地域で活動する国際交流市民団体・グループの運営側面支援の取り組みを以下の通り行った。

日付	取り組みの内容
通年	センターを拠点として活動するボランティアグループ「とよなかJSL」「日本語支援グループ・むすびめ」の運営支援及び両者が実施する事業と連携して子どもの日本語と就労をめざす外国人のための日本語サポート事業を協働で推進した。
通年	市民団体からの相談対応。協会ウェブサイト「国際交流の活動を充実させたい市民グループの皆様へ」というページを設置して周知をはかり、市民団体からの問合せに対して随時情報提供を行った。
5月21日、6月11日、7月30日、10月15日	とよなか国際交流センター登録グループとの連絡会議を4回開催し、実行委員会形式を重ね、地域の国際交流団体がともに考え創る「第3回とよなか国際交流フェスタ」を2017年9月9日(土)に開催することができた。また、2018年度も実行委員会形式をもって、さらに充実した「第4回とよなか国際交流フェスタ」を9月上旬に開催することを決めた。市民団体の環境向上及び登録団体の活動の発信等にむけ、関係団体へのヒアリングを引き続き実施しており、センターお知らせなどで紹介を開始した。

◆しょうないREKへの協力

2005年、豊中市の「市民公益活動推進条例」に基づき、市と市民が協働して庄内地域の環境・共生・活性化の課題に取り組む「しょうないREK」が立ち上げられた。（しょうないREKはR:Recycle[リサイクル]、E:Event[イベント]、K:[かわら版]を合わせた造語）。特に豊中市南部地域での連携を重点化するため、実行委員会に定期参加し、瓦版の執筆やイベントへの参加を行った。

2014年度から引き続き、庄内にて外国人親子を対象とした高校進学説明会に関わった。しょうないREK事務局や教育委員会関係部署と共に中心的に運営を行い、今年度は南部地域の中学校を訪れし広報活動を行ったり、豊中市進路保障委員会や特別入学者選抜校である大阪府立淀川東高校と連携をしたりすることにより、昨年度以上に内容を充実させることが出来た。また、「世界の庄内音楽ワークショップ」（豊中市主催、11月1日～11月11日開催）と「世界のしょうない音楽祭」（しょうないREK・豊中市主催、1月12日開催）について、外国人の参加者の呼びかけや、パネル展示を行った。

●しょうないREK実行委員会

開催日	4月20日、5月18日（欠席）、6月15日、7月20日、9月21日（欠席）、10月19日（欠席）、11月16日、12月21日、1月16日（欠席）、2月15日、3月15日（計11回、うち7回出席）
場 所	庄内図書館

●その他の取組

- ・外国人親子に向けた高校進学説明会@しょうない開催（庄内公民館） 7月9日 13:00～16:00
- ・「ええやん！しょうない瓦版〈特別号〉」7月発行 ※学習支援「学楽多」掲載
- ・「国際交流フェスタ」古本バザー（とよなか国際交流センター）9月9日
- ・世界のしょうない音楽祭（豊中市立文化芸術センター） パネル展示出店 1月12日

◆市民団体との連携および運営支援

地域で活動する国際交流目的の市民団体の活動支援を随時実施した。

- ・国際交流センターの登録グループ（24団体）との連絡会議を4回開催し、ニーズの把握を行った。
- ・団体からの国際交流に関する相談窓口を設置し、随時相談に対応した他、団体の運営に対して必要に応じてサポートを実施した。また、国際交流センターの登録団体のページ作成及び意見交換を目的に、ヒアリングを実施しているが、その内容についてセンターお知らせで紹介を始めている。さらに、市民団体の運営協力も行う他、市民団体との事業に共催・後援を行った。

◆その他

今年度も昨年度に引き続き、市民活動情報サロンと男女共同参画推進財団ととよなか国際交流協会の三者による豊中駅前活性化を推進するために、「こくりゅう・すてっぷ・サロンでジャンプ！」を企画した。相乗効果により、多くの人々が駅前地区に足を運ぶこととなり、第3回国際交流フェスタにも多くの来場者があった。来年度の実施形態については検討した上で行うこととなっている。

（3）留学生ホストファミリー事業

◆世話人会定例会：メンバー14人 毎月第3木曜日 全12回実施

◆ホストファミリーボランティア数：登録家族119家族（うち新規登録36家族）

◆登録説明会 ※単位：家族

実施日	参加家族数	登録家族数	新規登録家族 合計
6月18日	25	20	36家族
3月12日	23	16	

◆留学生とのマッチング数 ※単位：組

	春	秋	合計	総合計
大阪大学	39	50	89	106
JASSO	17	—	17	

◆交流会 ※単位：人

実施日	内 容	参加者数	留学生数	参加者総数
5月21日	万博ピクニック	73	41	114（28家族）
10月29日	ポットラックパーティ（すてっぷホール）	※ 警報発令のため中止		
	合 計	73	41	114（28家族）

◆関連機関との打ち合わせ、講演会等 ※単位：人

実施日	学校名	内 容	参加者数
4月6日	大阪大学	春期対面式①	36
4月15日	大阪大学	春期対面式②	21
5月13日	JASSO	対面式	52
8月7日	大阪大学	OHP 連絡協議会	4
8月8日	大阪大学	メイプルプログラム留学生修了式	2
9月8日	大阪大学	日本語日本文化研修生修了式	2
9月28日	大阪大学	秋期対面式①	28
10月3日	JASSO	打合せ	3
10月6日	大阪大学	秋期対面式②	20
10月14日	大阪大学	秋期対面式③	79
10月16日	箕面国流	担当者との意見交換	3
2月15日	大阪大学	留学生支援連絡協議会	3
3月2日	JASSO	来期についての打合せ	3
3月2日	大阪大学	OHP 連絡協議会	3
3月13日	大阪大学	日本語日本文化研修生修了式	2
3月15日	JASSO	卒業式	3
合 計			264

◆ニューズレターの発行（年2回）

<主な掲載内容>・特集（毎月号）／ホストファミリーと留学生の交流体験談／留学生コラム／いわせてあれこれ～交流に関するいろいろなお話～／活動報告

発行日	号数	特集内容	留学生コラム	活動報告
7月6日	62号	世界のお料理レシピ ～アフリカ編～	マダガスカル アメリカ	大阪大学春の出会いの会、JASSO 大阪日本語教育センター対面式、 ホストファミリー登録説明会、万 博ピクニック
12月5日	63号	IRIS(あいいりす)って どんなところ？	アゼルバイジャン インド	とよなか国際交流フェスタ、大阪 大学秋期出会いの会

◆協会イベント「とよなか国際交流フェスタ」への参加

9月9日「世界の飲み物&子どもコーナー」お手伝い

2. おとな国際事業

(1) にほんご活動事業

◆もっともつつかえるにほんご、千里にほんご、とよなかにほんご木ひる、とよなかにほんご金あさ、にちようがちゃがちゃだん

今年度から「千里にほんご」が加わり日本語交流活動は5つとなった。日本語ボランティア養成講座を修了した市民ボランティアによって自律的に運営され、外国人市民と日本人市民が出会い、日本語で交流をはかる場として週4日定着して開催した。また、8月と3月に日本語ボランティアの交流会を行った。

事業名	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数（うち外国人）	のべ実施回数
もっともつつかえるにほんご	月曜	10:00～12:00	838人（312人）	43回
千里にほんご	木曜	10:00～11:30	966人（284人*） *加えて乳幼児の参加30人あり	42回
とよなかにほんご・木ひる	木曜	13:30～15:30	1,641人（713人）	46回
とよなかにほんご・金あさ	金曜	10:30～12:00	3,483人（1,650人）	46回
にちようがちゃがちゃだん	日曜	10:00～12:00	908人（545人）	37回
総合計			7,836人（3,504人）	214回

●交流活動・学習会などの実施

事業名	実施日	内容	参加人数（うち外国人）
もっともつつかえるにほんご	7月10日	そうめん	20（6）
	12月18日	交流会	22（7）
千里にほんご	7月6日	七夕まつり	28（10*） *加えて乳幼児の参加4人あり
	11月30日	ワークショップ	22（4）
	1月27日	UR イベントに参加	7（1）
とよなかにほんご・木ひる	6月29日	料理会	45（25）
	12月21日	ポットラック パーティ	36（12）
	3月29日	遠足（万博記念公園）	51（31）
とよなかにほんご・金あさ	7月7日	七夕	86（43）
	10月6日	タイ料理会	26（13）
	12月15日	バザー&お楽しみ会	65（30）
	1月19日	正月のあそび	80（45）
	2月2日	豆まき	76（38）
	3月2日	ひな祭り	68（34）
にちようがちゃがちゃだん	12月17日	料理交流会	45（31）
	3月25日	お茶会・ビンゴ大会	26（15）

◆おかまち・おやこでにほんご、しょうない・おやこでにほんご、せんり・おやこでにほんご

保育がない、子どもが慣れない、家から遠いなどの理由で、日本語教室に参加しにくい乳幼児連れの外国人の居場所を提供するため、国際交流センター以外の公的な場として岡町図書館、庄内図書館、千里図書館で日本人親子のボランティアと外国人親子の交流を行った。乳幼児を抱え、家に引きこもりがちな外国人女性が安心して生活や子育てなどの情報交換ができ、悩みを相談できる場、リフレッシュできる場づくりを行った。

おかまち・しょうない・せんりおやこでにほんごの参加者合計	1,373人（うち外国人516人）
------------------------------	-------------------

●おかまち・おやこでにほんご

活動場所	豊中市立岡町図書館3階、とよなか国際交流センターなど		
活動期間	2017年4月11日～2018年3月20日までの37回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間（74時間）		
人数	ボランティア登録者数（11人）、のべ参加者数（495人）		
うち外国人おとな	77人	うち外国人子ども	64人
うちボランティアおとな	187人	うちボランティア子ども	167人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月11日	ミーティング	10月17日	おしゃべり会、V自己紹介
4月18日	おしゃべり会	10月24日	ハロウィングラフト
4月25日	こどもの日のクラフト	10月31日	お料理会（タイ料理）
5月2日	こどもの日のクラフト	11月7日	合同おにぎりパーティー
5月9日	おしゃべり会	11月14日	お話し会
5月16日	おしゃべり会	11月21日	落ち葉のお面作り
5月23日	お料理会（お弁当）	11月28日	松ぼっくりの工作
5月30日	お誕生日会	12月5日	お料理会（重ね煮、コロッケ、雪だるまケーキ）
6月6日	おしゃべり会	12月12日	お話し会
6月13日	ゼリー石鹸作り	1月16日	お誕生日会、図書館司書の絵本読み聞かせ
6月20日	おしゃべり会	1月23日	書初め
6月27日	お料理会（内モンゴル料理）	1月30日	ミーティング

7月11日	おしゃべり会	2月6日	お話し会、図書館主催お話し会の打ち合わせ
7月18日	バザー打ち合わせ	2月13日	お話し会、図書館主催お話し会の打ち合わせ、お誕生日会
9月5日	バザー打ち合わせ、お話し会	2月20日	ひな祭りクラフト
9月19日	おしゃべり会	2月27日	図書館のお話し会に参加
9月26日	おしゃべり会	3月13日	中国人ママによる おやこ合同料理会
10月3日	お月見の絵本読み聞かせ、歌『月』	3月20日	おしゃべり会
10月10日	おしゃべり会		

●しょうない・おやこでほんご

活動場所	豊中市立庄内図書館3階研究室、公民館、公民館調理室など		
活動期間	2017年4月18日～2018年3月13日までの30回		
活動時間	毎週火曜日午前10:00～12:00、総活動時間数(60時間)		
人数	ボランティア登録者数(7人)、のべ参加者数(409人)		
うち外国人おとな	99人	うち外国人子ども	77人
うちボランティアおとな	148人	うちボランティア子ども	85人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月18日	ミーティング	10月3日	活動の内容相談
4月25日	廃材・おりがみで鯉のぼり作り	10月17日	持ち寄りパーティー(三重大学の方が見学)
5月2日	絵本読み聞かせ	10月24日	折り紙でハロウィンかぼちゃ作り・庄内まつり役割分担
5月9日	おしゃべり会	11月13日	庄内まつり準備
5月16日	中国人ママさんのハンドマッサージ	11月20日	都市開発のインタビュー(中国人ママ2名) おしゃべり会
5月23日	おしゃべり会	12月5日	お楽しみ会の計画・準備
5月30日	みんなでスカーフでヒジャブ巻き(マレーシアの方)	12月12日	お楽しみ会
6月6日	物々交換	1月16日	新年のおしゃべり会・RECお抹茶会参加
6月13日	ブラジル人ママのケーキ作り	1月23日	今年度の反省・感想 意見交換
6月20日	おしゃべり会	1月30日	2/18のしょうないキッズフェスタの準備(相談)
6月27日	七夕飾り作り	2月6日	物々交換
7月4日	七夕・持ち寄りパーティー	2月13日	2/18のしょうないキッズフェスタの準備(値札付けなど)
7月11日	うちわ作り	2月20日	キッズランドの後片付け・整理
9月12日	おしゃべり会	2月27日	外部講師によるアロマ講習
9月26日	10月予定決め・庄内まつりの相談	3月13日	おやこ合同 中国料理クッキング

●せんり・おやこでほんご

活動場所	豊中市立千里図書館集会室 他		
活動期間	2017年4月18日～2018年3月13日までの33回		
活動時間	毎週火曜日午前10時～12時、総活動時間数(66時間)		
人数	ボランティア登録者数(12人)、のべ参加者数(439人)		
うち外国人おとな	105人	うち外国人子ども	94人
うちボランティアおとな	197人	うちボランティア子ども	43人

～活動内容

実施日	内 容	実施日	内 容
4月18日	クラフト(鯉のぼり)	10月24日	お誕生日会・物々交換
4月25日	クラフト(鯉のぼり)	10月31日	ハロウィンパーティー
5月9日	屋上ピクニック	11月7日	3親子合同(おにぎり作り)
5月16日	メイクレッスン	11月14日	クラフト(リボン作り)
5月23日	料理(おにぎり)	11月21日	クラフト(リボン作り)

5月30日	お誕生日会	11月27日	クラフト(クリスマスオーナメント)
6月6日	物々交換	12月5日	クラフト(クリスマスオーナメント)
6月13日	クラフト(バスボム)	12月12日	倉庫整理・ランチ会
6月20日	料理(クッキー)	1月16日	おしゃべり会
6月27日	七夕・浴衣着付け	1月23日	クラフト
7月4日	打ち上げ	1月30日	クラフト
7月11日	倉庫整理・ランチ	2月6日	倉庫整理
9月19日	おしゃべり会	2月13日	料理
9月26日	料理(炊き込みご飯・味噌汁)	2月20日	おしゃべり会
10月3日	おしゃべり会	2月27日	クラフト(ひなまつり)
10月10日	クラフト(ガーランド)・お月見	3月13日	3おやこ合同料理会(中国料理)
10月17日	クラフト(ガーランド)		

●おやこでほんご フォローアップ研修

日 程	2018年3月6日(火) 午前10時~12時
場 所	とよなか国際交流センター C.C.スペース
講 師	青木理恵子さん(特定非営利活動法人 CHARM)
テ ー マ	外国人母子支援について学ぶ
参加者数	12人

◆豊中市及び大阪府の教育行政・関係者との連携(識字・日本語豊中連絡会)

日 程	内 容	場 所
5月29日	識字・日本語豊中連絡会 会議	豊中市役所
10月22日	第28回「よみかき交流会 2017」	大阪府教育センター
11月13日	識字・日本語豊中連絡会 会議	豊中市役所
11月16日	夜間学級総合学習発表会	豊中市立第四中学校
12月19日	識字・日本語豊中連絡会 社会見学 見学先「造幣局、原田処理場」	造幣局、原田処理場
2月4日	識字・日本語学習研究集会	大阪教育大学
2月9日	識字・日本語豊中連絡会 会議	とよなか国際交流センター
2月9日	識字・日本語豊中連絡会 指導者研修会 講師：杉本篤子(やさしい日本語有志の会) 「識字・日本語ボランティアのためのブラッシュアップ研修」	とよなか国際交流センター
2月18日	識字・日本語豊能ブロック 交流会 テーマ「学びの中でみつけたもの」	豊中市立中央公民館
3月15日	識字・日本語豊能ブロック 教室見学会	池田市国際交流センター

(2) 多文化共生推進事業

◆世界を食べよう

2014年度より、地域の日本人を対象に異文化にふれる機会づくりとして、また講師となる外国人のエンパワメントにつながる機会づくりとして世界を食べようを開催した。昨年度より、多文化共生推進事業として実施。講師は、地域在住の外国人が担当した。今年度は3回の開催し、うち1回は外国人のための日本料理体験を初めて開催した。(会場はすべてとよなか国際交流センター料理室)

実施日	内容	参加者数(うち外国人)
5月18日	第1回 バングラディッシュ編	15(1)
10月26日	第2回 ネパール編	20(1)
1月25日	第3回 外国人のための日本料理体験	14(11)
		合計: 49(13)

◆多文化・多言語セミナー

近隣地域在住の日本人向けに異文化理解・多文化共理解促進のための講座を開催した。今年度は、マルチミュージシャン/音楽プロデューサーを講師に招き、ペルー発祥の打楽器「カホン」の製作後、参加者とのミニ講座やワンポイントレッスンをを行った。

実施日	内容	講師	参加者数 (うち外国人)
8月27日	カホンをつくろう！	kanta さん (マルチミュージシャン/音楽プロデューサー)	28(0)

◆通訳派遣

中間支援組織を対象として、外国人の生活支援要請案件に通訳ボランティアを派遣するものである。2014年度にコミュニティ通訳ボランティア養成講座を実施し、その受講者をボランティアとして登録している。今年度継続登録をしたコミュニティ通訳ボランティアは4人(英語3人、中国語1人)。

今年度は4件(英語)の要請があり派遣した(領域は高齢者・保健医療)。

◆外国人のための茶道教室

地域の外国人が日本文化にふれる機会づくりとして、茶道教室を開催している。2015年度より、多文化共生推進事業として実施。また、「とよなかにはんご木ひる」の日本語交流活動のあとに概ね月1回のペースで「木ひる茶会」も開催している。(会場はすべてとよなか国際交流センター和室)

	実施日	参加者数 (うち外国人)
第1回	6月2日	7 (4)
第2回	2月4日	12 (6)
木ひる茶会 8回	4月13日、6月8日、9月28日、10月26日、 11月30日、1月18日、2月22日、3月15日	100 (38)
合計:		119 (48)

◆外国のための武道体験

スポーツ振興事業団「侍プロジェクト」との共催事業として実施。スポーツ振興事業団とかかわりのある講師が外国人に向けて指導し、一緒に参加したボランティアとも武道を通して交流の場となった。空手、剣道の会場はとよなか国際交流センター、合気道は講師の厚意で刀根山にある道場へ出向いて体験した。

内容	実施日	参加者数 (うち外国人)
空手道	1月26日	18 (14)
剣道	2月16日	15 (5)
合気道	3月4日	12 (5)
合計:		45 (24)

◆国流シネマカフェ

2年目の夜間事業で人権や多様性に関する映画を鑑賞し、参加者同士が感想や意見交流をする中で、多様な考え方や人間関係のあり方、そして社会的課題についての新たな気づきにつなげる。

今年度は、「観たい映画アンケート」をとり、計画的(3か月に1回)に年4回上映会を行った。参加者数もほぼ定着し、次回の映画を楽しみにするリピーターも増えてきた。開催月は、5・8・11・3月の第3土曜日の18:00~20:00を基本としてきた。(場所はいずれも、とよなか国際交流センター)。

	日・曜・時間	映画の題名	参加者数 (うち外国人)
第1回	5月20日(土) 18:00~20:00	シルミド(実尾島)	32 (8)
第2回	8月19日(土) 18:00~20:00	グッドウィルハンティング	19 (5)
第3回	11月26日(土) 18:00~20:00	12人の怒れる男	18 (4)
第4回	3月17日(土) 18:00~20:15	フォレストガンプ	17 (1)
合計:			86 (18)

3. 持続可能な地域づくり事業

◆市民ゼミナール・メディア・リテラシー

日 時	2018年3月3日(土)
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	12人(うち外国人2人)
テ ー マ	メディアリテラシー講座 ～テレビの向こうの外国人～
講 師	田島知之さん(京都府立大学非常勤講師)
ワークショップ内容	<ul style="list-style-type: none"> ・メディアリテラシーとは何か ・「私たちのメディア史」 ・CMを「分析」してみよう ・オリンピックとメディア

①参加者同士の「対話の文化」を作ること、②参加者一人ひとりが持つ価値観や社会の見方がメディアを通してどのように形成されてきたかを知り、メディア社会を主体的に生きる視点を獲得すること、③マイノリティ市民の視点で考える力を獲得することで「多様な人々が尊重される地域づくり」の促進を目指している。本年度はメディアリテラシーに初めて接する人にも参加しやすい構成で開催した。参加者全員が初めての講座参加であり、導入では自身が接してきたメディアを時系列にまとめ発表し合い、アイスブレイクにつとめた。2グループに分けて議論をしていたが、講座が進むにつれ全体での議論に発展しはじめ、初めての映像分析でありながら参加者同士の意見交流が活発に行われた。

(2) 持続可能な開発のための教育(ESD)・防災・地域貢献

国連が提唱し2005年から始まった「持続可能な開発のための教育(ESD)の10年」を受け、2005年2月にキックオフをしたESDとよなかは、豊中市(関係5課)と市民活動中間支援団体(6団体)が事務局会議を行い、緩やかにつながりながら10年間活動を行ってきた。今後の活動について、昨年度の検討を踏まえ、今年度新たな10年に向けたESDとよなか連絡会議をスタートさせた。

今年は各構成団体の取り組み状況の共有のほか、当連絡会議としての今後の取組について議論を行った。ESD活動の今後の展開について、各構成団体の状況の共有から行うことができ、次の一步のための準備を行うことができた。さらにESDセミナーは3月6日に「ちゃんぷるカフェ」、3月17日に「ちゃんぷるフェスタ」を開催した。市民活動団体が相互に知り合い、交流することを目的として実施したものであり、つながり作りにつながった。

◆2017年度 ESDとよなか連絡会議

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	構成団体&機関名
9月19日	9(1)	豊中人権まちづくりセンター	NPO法人とよなか市民環境会議アジェンダ21、一般財団法人とよなか人権文化まちづくり協会、一般財団法人とよなか男女共同参画推進財団、公益財団法人とよなか国際交流協会、社会福祉法人豊中市社会福祉協議会、赤ちゃんからのESD、豊中市[環境政策課、市民協働部千里地域連携センター、人権政策課、生涯学習課]
11月2日	13(1)	豊中人権まちづくりセンター	
1月16日	10(0)	豊中人権まちづくりセンター	
3月30日	21(0)	豊中人権まちづくりセンター	
合 計	53(2)		

実施日	参加者数 (うち外国人)	開催場所	内容
3月6日	23(0)	とよなか国際交流センター	ちゃんぷるカフェ
3月17日	262(15)	とよなか男女共同参画推進センター	ちゃんぷる屋台村
合 計	285(15)		

◆とよなか国際交流協会25周年記念出版事業

2018年に協会およびセンターが25周年を迎えるにあたり、これまでの取り組みを振り返り、今後の協会事業を展望する作業を本書の執筆を通じて行う。また、持続可能な外国人支援事業の運営について他地域の外国人支援の参考となるような内容を発信する。そのための編集会議および準備を実施した。

(出版社は明石書店)

編集委員：牧里毎治さん(関西学院大学)、榎井縁さん(協会理事)、野崎志帆(協会評議員)、窪誠(協会評議員)、門美由紀(東洋大学)、事務局(山野上、山本、山根、黒島、金)

日付	内容	参加者数（うち外国人）
9月19日	準備会議	3
9月22日	第1回編集会議	11(3)
11月10日	第2回編集会議	10(3)
12月15日	第3回編集会議	11(3)
2月26日～27日	章別準備会議	6(1)
3月13日	章別準備会議	6
		合計：47（10）

◆コモトスースの絵葉書プロジェクト

市民から募集した協会キャラクター「コモトスース」のイラストを配置した絵葉書を5枚1組で作成し、2018年1月より頒布（600セット作成）。

◆EPA介護福祉士候補者のための日本語サポート事業

外国人が介護の担い手として増加する中、候補者が日本で安心して仕事・生活ができるよう、受け入れ施設である地域の介護保険事業者と協働し、介護福祉士候補生の国家試験合格をめざすほか、業務上の日本語習得をはじめ日本語検定試験（N3）および国家試験対策を行う。指導者は協会の日本語指導者有志で構成されたEPAST（EPA Support Toyonaka）。事業者と連携して介護分野での持続可能な支援・協働の在り方を模索するモデル事業として位置付けている。

<準備段階>

日付	内容	参加者数（うち外国人）
5月1日	EPA受け入れ施設視察研修（宝塚ちどり）	5（1）
5月8日	EPA受け入れ施設視察研修（あそか苑）	4（1）
9月7日	介護福祉士国家試験受験対策指導講座 （講師：Mother Trees 代表 ダン理恵さん）	7
10月5日	介護福祉士国家試験受験対策指導フォローアップ①（講師：同上）	6
10月26日	介護福祉士国家試験受験対策指導フォローアップ②（講師：同上）	6
1月28日	外部研修（スリーエーネットワーク主催）	3
		合計：31（2）

<指導実績>

12月8日より実施（対象者は3人、指導者は基本的に1回1人）

指導者	実施曜日	実施時間	参加者のべ人数（うち指導者）	のべ実施回数
EPASTメンバー	火・金	14：00～16：00	126人（33人）	31回

◆国際理解教育などの講師の派遣など

<のべ65件、99人（15カ国）を派遣>

	実施日	派遣先、内容	講師 （出身あるいは職員の別を記載）	人数
1	5月10日	豊中市小中学校教育研究会（多文化共生と在日朝鮮人教育研究会）	（アメリカ）職員	1
2	5月16日、31日	庄内こどもの杜幼稚園（異文化理解）	ロシア	1
3	5月17日	豊中市立第11中学校（国際理解）	中国、フランス、イギリス、ペルー、ベトナム、モロッコ、スリランカ、韓国、タイ	9
4	5月31日	とよなかESDネットワーク ちゃぶ台集会	職員	1
5	6月1日	大阪府立摂津高校（人権研修）	フィリピン（職員）	1
6	6月3日	ヒューライツ大阪&おおさかこども多文化センター（ネパールの現状と教育について）	職員	1
7	6月9、29日	庄内こどもの杜幼稚園②（異文化理解）	ロシア	1
8	6月15日	大阪府立刀根山支援学校関西医科大学総合医療センター分教室（滝井）（国際理解）	フィリピン	1

9	6月19日	豊中高校 SGH (イスラームに関する課題研究への助言)	職員	1
10	6月27日	RINK (すべての外国人労働者とその家族の人権を守る関西ネットワーク) (在日ネパール人について)	職員	1
11	7月4日、6日	大阪府立刀根山支援学校 大阪大学医学部付属病院分教室①	ロシア	1
12	7月5日	豊中市教研 帰国・外国人児童生徒教育・国際教育部会 (協会の取り組みについて)	職員	1
13	7月8日	とよなかま (多文化料理教室)	モロッコ	1
14	7月24日	市立豊島北小学校 教職員夏季研修	アメリカ (職員)	1
15	7月25日	豊中市立第四中学校夜間学級 (在日ネパールと教育について)	職員	1
16	7月25日	豊中市教職員2年目研修① (協会の取り組みと多文化共生について)	アメリカ (職員)	1
17	7月27日	箕面市教育委員会 人権施策課 (教員研修)	韓国 (職員)	1
18	7月29日	ヒューライツ大阪&おおさかこども多文化センター (在日ムスリムの現状と課題)	モロッコ、職員	2
19	8月2日	千里高校 SGH&ヒューライツ大阪 (在日ムスリムの現状と課題)	職員	1
20	8月10日	豊中市教職員2年目研修① (協会の取り組みと多文化共生について)	職員	1
21	8月19日	和歌山県国際交流協会 (日本語ボランティア研修)	職員、日本語ボランティア	2
22	8月19日	箕面市国際交流協会 (カフェ・めろん)	アメリカ (職員)	1
23	8月21日	枚方市立蹉跎中学校 (多文化共生)	職員、ボランティア	2
24	8月25日	神戸定住外国人支援センター(KFC) (多文化共生)	職員	1
25	9月22日	大阪成蹊女子高等学校 (人権研修)	アメリカ (職員)	1
26	9月23日、30日	吹田市国際交流協会 (日本語支援ボランティア養成講座)	職員	1
27	9月29日	高槻市人権まちづくり協会 (多文化共生)	職員	1
28	10月4日	大阪府立豊中支援学校高等部 3年生 (国際理解)	韓国	1
29	10月8日	トヤマ・ヤポニカ (言語教育プログラム研究会)	職員	1
30	10月10日	豊中市立千成小学校 (マイクロアグレッション)	アメリカ (職員)	1
31	10月17日	大阪市立北鶴橋小学校 (国際理解)	フィリピン	1
32	10月19日、26日	庄内こどもの杜幼稚園③ (異文化理解)	ロシア	1
33	10月22日	可児市国際交流協会 (コーディネーター養成講座)	職員	1
34	11月1日	近畿大学和歌山キャンパス (日本語ボランティア研修)	職員	1
35	11月21日	守口小学校 (フィリピンについて)	フィリピン (職員)	1
36	11月22日、30日	庄内こどもの杜幼稚園④ (異文化理解)	ロシア	1
37	11月27日、28日、30日	(公財) 豊中市スポーツ振興事業団 (接遇研修)	アメリカ (職員)、職員、	2
38	11月30日	大阪府立池田高校 (国際理解)	モロッコ、中国、韓国、ペルー (2人)、タイ、インドネシア、イギリス、ベトナム、フィリピン	10
39	12月5日	豊中支援学校 中学部2年生① (国際理解)	韓国	1

40	12月5日6日	豊中市立大池小学校（英語学習）	ベトナム、韓国（2人）、イギリス、ネパール、フィリピン（職員）	6
41	12月8日	市民ネット（多文化共生）	職員	1
42	12月11日	豊中市立第三中学校（国際理解）	アメリカ（職員）	1
43	12月13日、19日	庄内こどもの杜幼稚園⑤（異文化理解）	ロシア	1
44	12月13日	大阪府立千里高校（相互理解講座）	韓国、フィリピン、モロッコ、中国、ペルー	5
45	12月13日	とよなか起業チャレンジセンター	職員	1
46	2018年1月17日	府立豊中支援学校中学部3年生①（国際理解）	韓国	1
47	1月23日	府立豊中支援学校中学部2年生②（国際理解）	韓国	1
48	1月27日	独立行政法人UR都市機構（国際交流イベント）	職員	1
49	1月30日	庄内こどもの杜幼稚園⑥（異文化理解）	ロシア	1
50	2月4日	識字・日本語学習研究集会	職員	1
51	2月9日	大阪府立豊中支援学校高等部2年生	韓国	1
52	2月10日	多文化共生センター（地域日本語教室コーディネーター研修）	職員	1
53	2月13日	府立豊中支援学校高等部1年生（国際理解）	韓国	1
54	2月14日	豊中市立第四中学校（国際理解学習）	中国、韓国、ベトナム、モロッコ、フィリピン	5
55	2月15日	大阪府立刀根山支援学校関西医科大学総合医療センター分教室（滝井）②（英語・国際理解）	フィリピン	1
56	2月16日	枚方市教育委員会（指導員養成講座）	職員	1
57	2月19日	庄内こどもの杜幼稚園⑦（異文化理解）	ロシア	1
58	2月20日、23日	大阪府立刀根山支援学校大阪大学附属病院分教室②（英語・国際理解）	韓国	1
59	2月27日	第四中学校 夜間学級（多文化共生）	職員	1
60	3月4日	大阪州市民局ダイバーシティ推進室（多文化共生の場作り・人づくり推進事業 情報交換会）	韓国（職員）	1
61	3月6日	池田市立渋谷中学校	フィリピン（職員）	1
62	3月6日	庄内小学校（ブラジルを知ろう）	ブラジル	1
63	3月12日	蛍池小学校①（多文化共生に関する総合学習）	アメリカ（職員）	1
64	3月13日	豊中市ブックスタート研修	職員	1
65	3月19日	蛍池小学校②（多文化共生に関する総合学習）	フィリピン（職員）	1
合計				99

◆その他

●幸せの黄色いレシートキャンペーン

イオングループが行っているもので、毎月11日の買い物時に発行される黄色いレシートを客が地域の応援したい団体の投函BOXへ入れると、買い上げ金額合計の1%が希望する品物で寄贈される。「ダイエー曽根店」にて参加している。

期間	金額	贈呈品
2017年 上期（2017.3～2017.8）	¥10,230	クーラーボックス、チャック付クリアバック
下期（2017.9～2018.2）	¥6,620	コーヒーミル、コーヒーポット、スティックシュガー

●豊中市美化啓発事業への協力

6月16日 岡町駅前（参加者2人）

●海外体験学習

2017年11月6日(月)～8日(水)の2泊3日で、海外体験学習(韓国編)を行った。

学習のテーマは「韓国事情をさぐる旅：過去・現在・未来」とし、具体的課題として、①『過去：不可逆的解決「従軍慰安婦問題をさぐる』、②『現在：外国人地方参政権の経緯と実状をさぐる』、③『未来：多文化家族支援法の実態と多文化共生社会の展望をさぐる』の3つをさぐる旅とした。

まず①過去では「女性と戦争の博物館」を見学し、支援団体事務局長の梁路子さんから、「不可逆的解決には日本政府の真摯な事実解明と当事者への誠意ある謝罪が必要である」と知らされた。②現在では金雄基さん(弘益大助教授)から、「韓国政府が外国人に地方参政権を付与したのは在日韓国人の地方参政権を獲得するためであった。」と明かされた。③未来では鄭炳浩さん(漢陽大教授)から、「韓国政府は移住背景多文化家族の定住のための法律や制度を充実させ、在住外国人が韓国社会で安心・安全・安定した暮らしができるよう支援している。」と多文化共生社会への確かな歩みを学んだ。

参加者は大きな感動とともに日本社会についても深く考えさせられ機会となり、多様な視点からの学びを得た意義深い海外体験学習となった。日程と訪問先は次の行程で行われた。

【海外体験学習の行程】(参加者9名)

実施日	訪問先	講師 or 案内人	テーマとの関連
1日目 11月6日	移住背景青少年支援財団、ムジゲ(虹)青少年センター	シン・グッキョンチーム長 キム・ミラチーム長	未来をさぐる①
2日目 11月7日	戦争と女性の人権博物館 西大門刑務所歴史館 講演「地方参政権と在日韓国人」	ヤン・ノジャ事務局長 (自由見学) キム・ウンギ弘益大助教授	過去をさぐる① 過去をさぐる② 現在をさぐる
3日目 11月8日	安山市多文化家族支援センター 安山市多文化支援本部 小さな図書館(多文化図書館)	リュ・スジャ主任 チョン・ビョンホ漢陽大教授 イ・スンミ漢陽大教育学博士	未来をさぐる②

4. 持続可能な人づくり事業

(1) ボランティア研修事業

◆2017年日本語ボランティア養成講座

	実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回	10月17日	地域と国際化と日本語ボランティア ～とよなか国際交流協会の取り組みから～	山野上隆史(とよなか国際交流協会事務局長)	24 (0)
第2回	10月24日	誰も排除されない社会をつくる ～障害者権利条約と私たち～	松波めぐみ(大阪市立大学 非常勤講師)	3 (0)
第3回	10月31日	① 多民族共生社会の実現にむけて ～外国ルーツの住民が直面する現実～ ② はじめよう日本語活動	① 文公輝(NPO 法人多民族共生人権教育センター事務局長) ② ボランティア、学習者	46 (5)
			合計	102 (5)

◆多文化子育て支援ボランティア養成講座

日本に暮らす外国人の定住化と国際結婚が増え続ける中、かれらの抱える課題を、同じく子育てをしている日本人に知ってもらい、すべての人が安心して子育てができるためには地域で何が出来るかを考えるための講座を行った。講座終了後、各活動の見学を経て、豊中市親子参加型日本語教室「おかまち・おやおでにほんご」、「しょうない・おやおでにほんご」、「多文化保育にここ」のボランティアとして活動し始めた。また、他事業の協会ボランティアも参加して研修の場とした。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
第1回 5月25日	多文化共生のまちづくりに向けて～在日コリアン高齢者支援の実践から考える～	南珣賢さん(NPO 法人京都コリアン生活センター エルファ 事務局長)	16 (2)
第2回 6月1日	外国人親子の現状と課題 ～西淀川での取り組みから～ とよなか国際交流協会の取り組み紹介	佐藤千佳さん(特定非営利活動法人 多文化共生センター大阪) 大庭みゆき(とよなか国際交流協会職員)	18 (1)
第3回 6月8日	「おやおでにほんご」「多文化保育にここ」の活動紹介と外国人ママのお話し	おやおでにほんごボランティア&参加している外国人母	28 (5)
	※時間はいずれも10時～12時	合計	62 (8)

◆シニアのための日本語ボランティア説明会

敬老の日にあわせ、退職後に地域でのボランティア活動を検討している人向けに、センターの日本語交流活動を紹介する説明会を開催した。普段活動に参加しているボランティア3人がそれぞれの活動紹介、体験談を語り、参加者とも意見交流を行った。

実施日	内容	参加者数 (うち外国人)
9月18日 10:30~12:00	日本語交流活動の紹介、ボランティアの体験談	24
合 計		24

◆哲学カフェ in とよなか国際交流センター

テーマについて参加者みんなで問うたり、意見を出し合うスペースづくりを、「哲学カフェ」を実践しているカフェフィロや大阪大学大学院文学研究科臨床哲学研究室の大学生と共に創出した。開催曜日や時間を工夫して、テーマに興味のある人が参加できるように試みた。進行役、ボランティア、協会職員と一緒にテーマについて話し合い、熟考し「問い」の形になるようテーマを決定した。チラシも進行役本人に作成してもらった。

	実施日	テーマ	進行役	参加者数 (うち外国人)
第1回	6月4日	「治る」ってどういうこと?	川崎唯史(カフェフィロ)	22(1)
第2回	9月3日	「うまれる」ってどういうこと?	萩原彩香(大阪大学)	12(0)
第3回	1月20日	“うけとめる”ってなんだろう?	佐々木大輔(大阪大学)	18(1)
合 計				52(2)

◆学生受け入れ(インターン)

大阪大学人間科学部および同大学大学院人間科学研究科、大阪成蹊大学より、以下6人のインターン学生を受け入れた。

大阪大学大学院人間科学研究科	J.Lさん	「おまつり地球一周クラブ」運営業務、国流フェスタにおける企画運営など
大阪大学人間科学部	N.Mさん	「おまつり地球一周クラブ」運営業務、「世界を食べよう」ボランティア補佐、多文化フェスティバルにおける企画運営など
大阪大学人間科学部	G.Mさん	「おまつり地球一周クラブ」運営業務、国流フェスタにおける企画運営など
大阪成蹊大学教育学部	M.Nさん	多文化フェスティバル運営補助など
大阪成蹊大学教育学部	T.Mさん	多文化フェスティバル運営補助など
大阪成蹊大学教育学部	M.Hさん	多文化フェスティバル運営補助など

◆学生受け入れ(サービスマーケティング)

大阪大学未来共生イノベーター博士課程プログラムの公共サービスマーケティングにおいて、大学院生を1人受け入れた。

大阪大学大学院人間科学研究科	K.Y.さん	「世界を食べよう」運営補助、国流フェスタにおける企画運営、小学校外国語体験活動の運営補助、多文化保育「にこにこ」への参加など
----------------	--------	--

◆学びほぐしシリーズ 「あたりまえ」に対抗する“ばづくり・ひとづくり”実践者セミナー 「オキナワを考える」

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
5月2日	イラク帰還兵が見たオキナワ ～Study War No More	アッシュ・キリエ・ウールソンさん	35

5月20日	アメリカントーク	山口博之さん、セイヤー・ケンさん、 田口ローレンス吉孝さん	21
5月27日	戦後沖縄社会のあゆみ ～データが覆す沖縄イメージ～	岸政彦さん（立命館大学）	58
合 計			114

5. 子ども国際事業

(1) おまつり地球一周クラブ

地域に暮らす外国人を中心に日本人も含め、ともに国際理解講座や遊び等の体験を通じて国際感覚を持った子どもたちを育成し、豊かな地域社会を構築することを目的として実施した。また、外国人講師の力を発揮する機会にもなった。

	実施日	テーマ	参加者数 (人)		
			計	子ども	外国人
第1回	6月17日	ようこそベナンへ!	15	7	4
第2回	7月22日	チョアチョアコリア～あそび編～	11	4	5
第3回	8月19日	キムチをつくろう!	23	11	6
第4回	9月23日	モロッコをしろう!	24	11	5
第5回	10月28日	チョアチョアコリア～お料理編～	19	14	6
第6回	11月25日	民族衣装をつくろう!	7	3	2
第7回	12月23日	パロールをつくろう!	21	12	2
第8回	2月25日	チョアチョアコリア～お正月体験～	20	12	2
合 計			140	74	32

(2) 韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい

韓国・朝鮮につながるのある子どもたちが、毎月第3土曜日に集まり、民族講師（ソンセンニム）から、民族の文化や遊びを学び通して、自尊感情を培うとともに、友だち（チング）とのつながりを深める場を設けた。市内小中学校の先生方が主体の「韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい」実行委員会が中心となり、「つどい」の運営を進めている。

民族講師（ソンセンニム）：金生遵、金景姫

	日程	内 容	参加者数 (うち外国人)	先生(うち外国人※ ソンセンニム含む)
—	4月15日	実行委員ミーティング	—	6(1)
第1回	5月20日	開講式・自己紹介・ハングル名札づくり・あそび	9(9)	13(4)
第2回	6月24日	ウリマルにふれよう、ウリナラのあそび	17(17)	16(5)
第3回	9月16日	夏休みの思い出、ウリナラの服について、ノリゲ作り	8(8)	10(3)
第4回	10月21日	民博へでかけよう	3(3)	6(1)
第5回	11月18日	多文化フェスティバルに参加しよう	7(7)	11(2)
第6回	12月16日	ソルラルについて・新年のあいさつ・年賀状や凧作り	6(6)	10(3)
第7回	1月27日	調理実習～チヂミとトックを作る～	7(7)	13(3)
第8回	2月17日	お正月について、平昌オリンピックについて、文集作り	5(5)	13(3)
第9回	3月17日	修了式、みんなでお祝い、文集づくり	4(4)	8(2)
合 計			66(66)	106(27)
総合計			172(93)	

◆ハギハッキョ（夏期学校）

日程	名前	場所	参加者
7月24日、25日	小学生のハギハッキョ	豊中市立蛸池小学校	25
8月9日、10日	ハギハッキョ・キャンプ	豊中市青少年自然の家わっぱる	14
合 計			39

Ⅱ. 周縁化される外国人のための総合的なしくみづくり事業

1. おとなサポート事業

(1) 相談サービス

生活相談・外国人女性専用電話相談		相談件数（臨時通訳除く） 計：952件
毎週金曜日	11:00~16:00	
相談員	吉嶋かおり（臨床心理士）	
就労相談コーディネーター	植木美恵子	
多言語スタッフ	中国語	賈晨
	韓国・朝鮮語	朴貞淑
	フィリピン語・英語	平松マリア
	タイ語	バーンセン・ピシャモン / シッティチャー・ナットチャー
	ベトナム語	グエン・ティ・ジェム・ミン
	スペイン語	滝本クラウディア
	インドネシア語/英語	ザーラツル・アマナ / モニカ・イリサ・ゴンドクスマ
	ネパール語	山本愛（協会職員）
臨時通訳	臨時通訳件数：6件	

◆相談件数

2017年度の相談件数は952件、前年度が1,146件だったため、前年度比17%減だった。一昨年度とほぼ同件数となった。2016年度中に、中・長期に渡る調停や訴訟ケースが一定終了したことが件数の増減の背景と考えられる。

相談者の居住地は、例年通り豊中市が最も多く、41.5%だった。センター事業の「利用者」からの相談は、例年通り豊中市民が多く、約65%を占めた。大阪府下全域では77.6%であり、この割合傾向は例年と変わらない。近畿の他府県以外の地域や海外など遠方から電話やメールでの相談が約5%あった。

国籍は例年通りフィリピンが最も多く40.2%。フィリピン語での相談が大阪ではほとんどないため、当方に集中していることに加え、継続対応が必要な相談内容が多い。長年実施してきているため、口コミで相談につながっている。次いで中国が9.1%、ネパール6.9%、韓国5.1%、ベトナム3.7%となっている。在住人口が増加しているネパール、ベトナムは相談でも増加傾向を示している。日本国籍者からの相談も多く、12.2%を占めている。

日本国籍だがルーツが日本以外の人76件（約8%）だった。日本国籍で使用言語が日本語以外の相談は22件、外国籍だが日本語で相談を行ったのは399件で（約42%）、そのうち相談対応言語以外の言語を公用語（母語）とするものは53件、15か国語だった。日本語で対応した相談は、日本語での会話が可能で、プライバシーを守りたいために、あえて日本人スタッフへの対応を求めたものと、関係機関との連携によるものが多かった。国籍は38か国に及んだ。

在留資格は定住者25.7%、永住者15.7%、配偶者10.3%だった。

職業では介護職が18.3%、介護職以外のパート・アルバイト（工場勤務等）が13.9%、学生8.2%、無職（主婦を除く）が7.8%だった。学生は主に中高生の相談である。無職の約半数は生活保護受給者で、就労者はほぼ非正規労働者である。

<相談内容と件数>

大項目	内容別件数 (前年度比)	割合 (%)	前年度 件数	小項目 <カッコ内は全件に占める割合 (%) >
夫婦関係	223 (73%)	18.0	307	DV (2.8)、離婚 (6.4)、親権・養育費 (4.4)、不和・不満 (1.9)、国際結婚 (2.1)、その他 (0.3)
手続き	196 (144%)	15.9	136	在留資格など (5.2)、家族呼び寄せ (2.8)、養子 (0.2)、日本国籍取得・帰化 (5.7)、その他 (2.0)
生活	302 (77%)	24.4	391	日常生活 (4.2)、行政手続き (5.7)、住居 (3.6)、日本語学習 (4.4)、金銭問題 (1.7)、交通事故 (0.4)、生活困窮 (0.7) その他 (3.6)
保健	64 (128%)	5.2	50	メンタルヘルス(0.9)、医療(2.4)、母子保健(1.2)、その他 (0.6)
人間関係	34 (106%)	2.8	32	家庭 (1.1)、友人 (0.5)、地域 (0.2)、職場 (0.6)、その他 (0.4)

労働	170 (58%)	13.8	291	求職 (7.5)、就労定着上の問題(2.3)、失業・退職 (0.5)、労災 (0.2)、給料未払 (1.1)、その他 (2.1)
子ども	223 (130%)	18.0	171	子育て (3.8)、学校 (10.4)、保育所・幼稚園 (1.1)、その他 (2.8)
その他	24 (63%)	1.9	38	人権侵害 (0.2)、その他 (1.7)

※1件の相談が複数のテーマにまたがることもあるため、内容別件数全体は相談件数全体より大きくなる。

2015年度から、「手続き」の中に「日本国籍取得・帰化」と、「生活」の中に「生活困窮」の小項目を設けた。「日本国籍取得・帰化」はジャパニーズ・フィリピン・チルドレンの日本国籍取得手続きの相談がほとんどを占める。「生活困窮」の相談件数は9件だが、生活保護受給者の相談は45件あり、約10%を占めている。

◆機関連携

他機関からの問い合わせ、他機関で受けた相談者への支援依頼など、他機関との連携による相談は178件(18.7%)だった。機関連携で多いのは、法的対応にかかる弁護士との連携、経済的困窮者(生活保護受給者含む)の家庭や生活上等の問題、就労支援、労働問題、DV被害者への対応、子どもの学校生活における問題等であった。

豊中市	人権政策課、保健センター、子ども家庭相談室、教育委員会、幼稚園、小・中学校、福祉事務所、地域就労支援センター(雇用労働課)、市民相談課
豊中市以外の自治体・学校	女性相談支援機関、他市DV担当、府・他市教育委員会、他市子ども家庭相談室、他市福祉事務所、公立高校、
公的支援機関	社会福祉協議会、母子福祉支援施設、公営住宅、他市国際交流センター
その他支援機関	JFCネットワーク、人権擁護団体
その他	領事館、弁護士、病院、協会事業ボランティア、メディア、研究者

◆スタッフ研修(内部・外部)

相談事業スタッフの研修を行い、相談員としての基本的な知識・スキルを学び資質向上をはかった。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
6月2日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師：吉嶋かおり(臨床心理士)	9(6)
7月21日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師：吉嶋かおり(臨床心理士)	8(6)
9月15日	「多言語・多文化における相談とは」 講師：山中京子さん	16(9)
10月6日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師：吉嶋かおり(臨床心理士)	8(6)
11月17日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師：吉嶋かおり(臨床心理士)	8(7)
1月19日	多言語スタッフのための相談対応研修 講師：山本愛(職員)	8(7)
	※時間帯はすべて10:00~12:00	合計 57(41)

◆外国人のための多言語セミナー／一日相談会

相談事業によせられる相談から課題を抽出してセミナー化し、広く情報提供をはかった。すべての講座に通訳と保育をつけて、外国人女性が参加しやすい環境を整えた。また、特定のテーマでの専門家による一日相談会も開催した。

実施日	テーマ 講師	参加者数(人)
7月1日	Divorce and Remarriage フィリピン人の離婚と再婚の法的要件と手続き 講師：シャーリー・O・ヌエヴォさん(フィリピン総領事館副領事)、甲斐みなみさん(弁護士)、ジェファーソン・プランティリヤさん(弁護士)	26(19)
5月12日	ネパールを知る 講師：森田剛光さん	12(9)

2月16日	外国人のための確定申告相談会 相談員：税理士1人	7 (7)
3月25日	外国人のための多言語セミナー「子ども～思春期の性と生について考える」&健康相談会 講師：北野真由美さん（えんばわめんと堺/ES）共催：NPO 法人 CHARM 協力：豊中市保健センター	35 (29)
		80 (64)

◆同行支援

相談対応の中で機関連携が必要な場合、必要に応じてスタッフが同行サポートを行う。

同行先	回数	同行先	回数
女性相談センター	3	法務局	4
裁判所	4	民間シェルター	5
法律事務所	2	領事館	2
大阪府教育庁	7	豊中市役所	3
府立高校	11	年金事務所	2
合 計			41回

◆地域連携

実施日	内 容
7月20日、24日、8月4日、10日、22日	地域福祉ネットワーク会議
7月14日	豊中市子どもを守る地域ネットワーク会議
7月27日	豊中市 DV 防止ネットワーク会議
10月3日	豊中市保健師会 例会
9月11日	地域就労支援センター 意見交換会
2月8日、10日、13日	豊中市 民生児童委員協議会
2月22日	豊中市家庭教育力向上会議
3月6日	大阪府国際交流財団 行政相談窓口相談員ネットワーク会議
3月6日、5日、12日	地域福祉ネットワーク会議
関係機関からの多言語翻訳協力	<ul style="list-style-type: none"> ・豊中市保健センター「妊娠・出産・子育て相談窓口」の多言語パンフレット翻訳作業 ・豊中市スポーツ振興事業団「豊中市スポーツ施設案内パンフレット」多言語翻訳 ・庄内図書館「豊中市図書館利用案内」ネパール語翻訳 ・子育て支援センター「桜井谷地域子育て支援センター」利用案内等書類一式多言語翻訳

◆リコン・アラート（協議離婚問題研究会）の実施、多言語啓発ツールの配布・動画配信の開始

2014年度に実施したシンポジウムでは、協議離婚制度の簡便さから、日本人配偶者である夫から、勝手に離婚届を出されるという相談ケースをふまえて国際結婚の事例をもとに、協議離婚制度の問題について提起し、議論を深めた。昨年度は当該ケースに関して共同通信社の取材を継続的に受入れ、全国の多くの地方紙に「勝手に離婚された」事例と協議離婚制度の課題が掲載され、相談事業から見えてきた課題についての問題提起を引き続き行った。今年度は昨年度実施した離婚届けの多言語翻訳および当事者向けの多言語啓発ツールである啓発動画&パンフレットと11言語でのウェブサイトならびにフェイスブックページを配布、動画配信を開始した。その周知を兼ねて、構成団体と共に一日離婚電話相談会を開催した。

会議実施日	内 容	参加者
4月25日（火）10時半～12時	リコン・アラート 第3回会議	11 (3)
5月27日（土）10時～16時	外国人のための一日離婚電話相談会（相談件数27件）	17 (11)
6月17日	移住労働者と連帯する全国フォーラム in 福井	1
7月11日	弁護士交流会	6 (1)
7月25日（火）16時～17時	リコン・アラート 第4回会議	9 (2)
10月27日（火）13時～15時	リコン・アラート 第5回会議	9 (2)
2月20日（火）10時～12時	リコン・アラート 第6回会議	8 (2)
		61 (21)

【リコン・アラート構成メンバー】

二宮周平さん（立命館大学）、大谷美紀子さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク代表）、芝池俊輝さん（弁護士、外国人ローヤリングネットワーク事務局長）、木村雄二さん（外国人労働者とその家族の権利を守る関西ネットワーク RINK）、村西優季さん（NGO 神戸外国人救援ネット）、いくの学園、京都 YWCA・APT、アジア太平洋人権情報ネットワーク（ヒューライツ大阪）、箕面市国際交流協会
今年度より カトリック大阪大司教区 社会活動センターシナピス、大阪府国際交流財団（OFIX）が参加

URL : <http://atoms9.wixsite.com/rikon-alert>

パンフレット：日本語（4,000部）、英語（6,000部）、中国語（4,000部）、韓国語（4,000部）、フィリピン語（4,000部）、タイ語（2,000部）、ベトナム語（1,000部）、インドネシア語（1,000部）、ロシア語（1,000部）、スペイン語（1,000部）、ポルトガル語（1,000部） 合計 29,000部発行

◆DV 啓発コーナーの設置運営

センター内に DV 相談の周知のために情報コーナーを設置し、多言語（9 言語）で情報提供している。

◆「日本語支援グループ・むすびめ」との協働事業 <日本語能力検定試験サポート>

2009 年度～2010 年度文化庁委嘱事業「多文化共生社会の基盤をつくるための“むすびめ”を生み出す日本語コーディネーター研修(むすびめ事業)」で研修を受けたボランティアが中心となり、2011 年度に「日本語支援グループ・むすびめ」が結成され、月曜日のにほんご活動事業「もっとももっとつかえるにほんご」の運営および、外国人への具体的な仕事や資格につながる支援事業(主に日本語を切り口とした)を協会と共催した。

就労のための資格取得サポートの一環として、日本語能力検定試験にむけた個別サポートを実施した。毎週火曜日の開催とし、試験日の 3 ヶ月前からの実施をおこなった。

登録学習者数	14 人（ボランティアは 10 人）	
サポートのべ回数	32 回	
サポートのべ時間数	256.5 時間	
内容	日本語検定試験のためのボランティアによる個別指導（のべ 384 人）	
実施日	4 月	4 日、11 日、17 日、18 日、24 日、25 日
	5 月	2 日、9 日、16 日、23 日、30 日
	6 月	6 日、13 日、20 日、26 日、27 日
	9 月	5 日、12 日、19 日、26 日
	10 月	3 日、10 日、17 日、24 日、31 日
	11 月	2 日、7 日、9 日、13 日、14 日、21 日、28 日

<その他の資格取得サポート>

介護職員実務者研修資格取得のための個別サポート

<協会／むすびめ連絡会>

「日本語支援グループ・むすびめ」と協会が実施する共催事業や資格・就労のための日本語学習の打ち合わせなど、情報共有を定期的の実施した。

参加者数	のべ 45 人
実施日	4 月 27 日、6 月 5 日、7 月 31 日、9 月 7 日、10 月 16 日、11 月 20 日、1 月 22 日、2 月 19 日、3 月 26 日

(2) コミュニティ活動

・フィリピン人中高年の居場所づくり「Filipino Young at Heart's Club(FYAHC)」

昨年度の大阪コミュニティ財団助成事業「外国人高齢者のための居場所づくり調査事業」をふまえ、今年度より今後急速に高齢化を迎えるフィリピン人向けの居場所づくりを試行的に実施した。(頻度は毎月1回日曜日、コーディネーターは2名(ラモス・マリコ、平松マリア))

実施日	内容	参加人数(うち外国人)
5月7日(日)14時~16時	スタートアップセッション&ビンゴ大会	6(5)
6月4日(日)14時~16時	日本の年金制度勉強会	18(15)
7月9日(日)14時~16時	労働問題勉強会	16(14)
9月3日(日)14時~16時	太極拳体験&ハロハロ	16(4)
10月1日(日)14時~16時	老年期のためのマネーセミナー	9(7)
11月12日(日)14時~16時	ズンバ	18(16)
12月10日(日)14時~16時	クリスマスパーティ	40(36)
2月4日(日)14時~16時	ズンバ	15(12)
3月11日(日)14時~16時	救命救急講習(豊中市出前講座として)	15(9)
		計153(118)

・ベトナム人市民による自主的なコミュニティ活動支援のため、ベトナム人の有志が集まる卓球などのアクティビティ活動場所の提供やコミュニティ周知のための助言・相談を行った。

活動回数	参加者数	内容
38回	のべ190人(うち外国人190人)	卓球 ほか

・外国人によるお料理会

相談サービスや日本語交流活動の利用者を中心に、センターでのコミュニティ料理会を開催した。

開催回数(開催曜日・時間)	参加者数	内容
18回(金曜日12時~14時)	のべ450人(内外国人95人)	ベトナム料理、フィリピン料理、韓国料理他

(3) 防災事業

2016年度に締結した「災害時多言語支援センター設置に関する協定書」(豊中市)、「外国人への多言語での情報提供に関する協定」(大阪大学大学院国際公共政策研究科)をふまえ、12月1日、15日には(特活)多文化共生マネージャー全国協議会 副代表理事 高木和彦氏を講師に迎え、豊中市多言語支援センター訓練を大阪府国際交流財団と共催で実施しました。協会職員、市役所職員が参加し、実際の開設にあたって必要な準備について、ワークショップ形式で学んだ。

また、大阪府国際交流財団主催の大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議、大阪ボランティア協会主催の災害時のスペシャルニーズ支援事業外国人支援部会に参加した。

さらに次年度以降の体制整備を見据え、地域で実施される防災訓練への参加、豊中市及び大阪大学との体制整備に向けた打合せを実施した。

実施日	内容	場 所	参加者数(うち外国人)
6月8日、11月28日	大阪府災害時外国人支援ネットワーク会議	マイドーム大阪	53(9)
11月26日	野畑小校区防災訓練参加	野畑小学校	1(0)
11月30日	とよなか国際交流センター消防訓練	エトレ豊中(全館)	5(0)
12月1日、15日	豊中市多言語支援センター訓練	とよなか国際交流センター	34(7)
12月19日、1月30日、3月16日	豊中市(人権政策課)、大阪大学(国際公共政策研究科)と防災事業に関する打合せ	とよなか国際交流センター	13(3)
12月22日、2月8日	災害時のスペシャルニーズ支援事業	大阪ボランティア協会	25(2)
3月18日	高川小校区防災訓練参加	高川小学校	2(2)

2. 子どもサポート事業

(1) 多文化子ども保育 “にこにこ”

地域に暮らす就学前の外国人の子どもたちが、読み聞かせや自由遊びなどの保育を通して、多様な子どもやおとなと接し、コミュニケーションを取ることで社会生活に慣れるための場づくり。保護者にとっては子どもと離れて日本語交流活動へ参加したり、自分の時間を持てる場になっている。外国人保護者にとっては、保育の専門知識を持つボランティアへ子育て相談をしたり、幼稚園・保育所のことなど地域の情報を得ることができる場になっている。

実施曜日	時間	回数	ボランティア登録者数	参加者数（のべ人数）：うち外国人 ボランティア参加者数（のべ人数）
木曜日	13：30～15：30	44回	3人	子ども（115）：うち外国人（115） ボランティア参加者数（119）
金曜日	10：30～12：00	46回	7人	子ども（420）：うち外国人（420） ボランティア参加者数（219）
			合計	子ども（535）：うち外国人（535） ボランティア参加者数（338）

◆豊中市子ども読書活動連絡会

豊中市では今年度より「豊中市子ども読書活動推進計画」を「こどもすこやか育みプラン・とよなか～豊中市子育て・子育て行動計画～」(子ども未来部)の中に組み入れられ、新たに「こども読書活動連絡会」を立ち上げ、年2回の報告会を持つこととなった。協会では、毎年「おやこでにほんご」のボランティアと職員が「障害のある子どもや外国人の子ども」の読書環境を整備するワーキンググループへ参加し、事業実施の協力を行ってきた。これにより、読書活動において「外国人の視点」が地域課題のひとつとして認識されるようになり、図書館との連携という意味でも大きな意味があった。この動きを受け、協会内でも推進計画を具体的に進めていくために、「多文化子ども読書推進事業」を立ち上げ、「外国語絵本コーナー」の設置と8言語による「センター図書案内」を作成し、外国人の子どもが参加するすべての事業で、活動の中に読書推進の取り組みを盛り込むことに努めた。また継続して市立図書館にある外国語図書の蔵書を定期的にセンターに巡回配架する取り組みを始めており、センター利用者が多言語図書にアクセスしやすい環境がつけられている。

また、今年度も言語的マイノリティに置かれる外国につながる子どもたちが、乳幼児期から母語や本(絵本)と出会うために、多文化子ども保育にこにこ、おやこでにほんご(岡町・庄内・千里)、子ども母語などの事業で、プログラムに絵本の読み聞かせなどを取り入れたり、センターに外国語絵本コーナーを設けるなど、事業横断的に外国人親子の読書活動推進を行っている。

<ハード面での環境整備>

- ①外国語絵本コーナーの整理、周知
- ②市立図書館の外国語図書を配架(半年毎に入れ替え)

<ソフト面での環境整備>

- ①外国人親子の居場所づくり(おやこでにほんご)での読み聞かせ(母語・日本語)を行った。
- ②多文化保育にこにこで、絵本の読み聞かせを行った。

実施日	内容	場所
6月15日	第1回子ども読書活動連絡会	いずれも岡町図書館
3月1日	第2回子ども読書活動連絡会	

◆公民協働子育て支援イベント ～ みんな集まれわくわくランドへの出展協力

市が年に一度開催する子育てイベント。実行委員会に参加し、当日の出し物として、11月25日はパネル展示、12月9日は韓国人スタッフが参加し、韓国の手遊びや絵本コーナーを設置した。今年度もチラシ作成を一部多言語にするため、協会が翻訳協力を行った。(11月25日庄内体育館、12月9日すこやかプラザ)

(2) 子ども母語教室

外国にルーツを持つ子どもが母語や文化を学ぶことを通じて仲間と出会う場づくりを目的に、中国語、スペイン語、ポルトガル語、タイ語の4言語の母語教室を月に2回開催した。母語のスタッフはルーツを持つ大学生で、子どもにとってピア（同じ経験をした仲間）サポーターであると同時に、ロールモデルとしての役割を果たした。

<定例>

実施曜日	時期	時間	回数	参加者数(人)
第2日曜 第4日曜	2017年4月9日～ 2018年3月25日	10:00～12:00	92回	子ども(148)、ボランティア(103) 合計251人(うち外国人228人)

<クラス別>

クラス	年間活動回数	参加者数(人)		合計
中国語	23回	子ども 18	ボランティア 23	41
ポルトガル語	23回	子ども 7	ボランティア 17	24
スペイン語	23回	子ども 89	ボランティア 44	133
タイ語	23回	子ども 34	ボランティア 19	53
総合計				251

<その他>

実施日	内 容	参加者数(人)	合計
5月14日	【合同イベント】母の日のカード作り	子ども8、ボランティア6	14
7月9日	【合同イベント】アジアイベント (水餃子、パッタイ作り)	子ども8、ボランティア6	14
9月24日	【合同イベント】南米イベント (ブラジルの朝ごはん、サルサダンス)	子ども13、ボランティア7	20
1月14日	【合同イベント】正月イベント(韓国トック作り)	子ども6、ボランティア6	12
2月25日	【合同イベント】中国旧正月イベント (中国コマ、ハンカチ回し、チェンズ体験)	子ども5、ボランティア10	15
合 計			88

(3) 学習支援・サンプレイス

外国にルーツを持つ子どもを対象に、大学生・大学院生ボランティアによる日本語・学習支援を通じた居場所づくりを行った。ボランティアの中には外国にルーツをもつ大学生も数名おり、それにより子どもの抱える悩みやニーズへより細やかで柔軟な対応が可能となった。今年度は 코리아タウンへのフィールドワークや遠足など、いくつかセンターの外へ出での活動を予定していたが、台風や悪天候と重なることが続き、実現することができなかった。来年度は子どもの要望に応えつつ、国際交流センター以外でも活動ができるようにしたい。

<定例>

実施日	時期	時間帯	回数	参加者数(人)	
第一以外の日曜	4月9日～3月25日	13:00～15:00	37	こども(うち外国人)	231(221)
				ボランティア(うち外国人)	173(94)
				合計(うち外国人)	404(315)

<その他>

実施日	内 容	参加者数 (人)	合計 (うち外国人)
6月18日	近くの公園へ遠足	子ども (8) ボランティア (6)	14 (10)
8月6日	豊中まつりへのダンス出演	出演 (2)、ボランティア (5)、職員 (1)	8 (3)
8月17日	サンプル・インテンシブ	子ども (2)、ボランティア (4)	6 (2)
8月20日	サンプル・インテンシブ	子ども (5)、ボランティア (2)	7 (6)
8月24日	サンプル・インテンシブ	子ども (3)、ボランティア (7)	10 (4)
8月27日	流しそうめん	子ども (7)、ボランティア (8)	15 (9)
11月11日	多民族フェスティバルへのダンス出演 (箕面市国際交流センター)	子ども (2)、職員 (1)	3 (1)
総合計			63 (35)

・子ども・若者ボランティア合同合宿 (於 河内長野市 光滝寺オートキャンプ場)

実施日	内 容	参加者数 (人)
9月2日、3日	活動の課題共有とワークショップ	ボランティア (7)、職員 (2)、うち外国人 (4)

・子ども・若者事業担当者連携会議 (場所はすべてとよなか国際交流センター)

実施日	内 容	参加者数 (うち外国人)
4月7日	ブレインストーミング	4 (1)
4月23日	在日韓国朝鮮人とニューカマー	5 (1)
5月8日	子ども事業・若者事業の歴史 (はじまり・発展の経緯)	6 (1)

◆関係機関等との連携

実施日	内 容	場 所	参加者数
5月11日	池田市立呉服小学校 国際理学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	1
5月19日	豊中市在日外国人教育研究協議会 担当者会議	とよなか国際交流センター	1
5月20日	豊中まつりふれあい広場実行委員会	福祉会館	1
6月7日	子ども施策推進会議	豊中市役所	1
6月9日	豊中市在日外国人教育研究協議会 担当者会議	とよなか国際交流センター	1
6月23日	豊中まつりふれあい広場実行委員会	福祉会館	1
7月9日	豊中まつりふれあい広場実行委員会	福祉会館	1
7月9日	外国人親子のための進路相談会 (しょうない REK)	庄内公民館	2
9月1日	豊中市在日外国人教育研究協議会 担当者会議	とよなか国際交流センター	1
10月20日	豊中市在日外国人教育研究協議会 担当者会議	とよなか国際交流センター	1
10月21日	こどもの相談支援ネットワーク会議実務担当者会議	すこやかプラザ	1
11月28日	子どもの虐待に関する研修	豊中人権まちづくりセンター	1
12月15日	こどもの相談支援ネットワーク会議実務担当者会議	すこやかプラザ	1
12月15日	豊中市在日外国人教育研究協議会 担当者会議	とよなか国際交流センター	1
2月16日	豊中市在日外国人教育研究協議会 担当者会議	とよなか国際交流センター	1
3月8日	池田市立呉服小学校 国際理学習全校集会・母国語教室開講式	池田市立呉服小学校	1

Ⅲ. 学校とつながってつくる豊かな未来事業

1. 小学校外国語体験活動事業（豊中市教育委員会受託事業）

豊中市が総合計画で推進している「共に生き共に学ぶ開かれた社会を築く」ために、豊中市市民公益活動条例に基づいて豊中市教育委員会と協働実施している「豊中市小学校外国語体験活動」提案公募型事業に選定され、受託した。地域に暮らす外国人（ボランティア）が学校と協働し、地域に根差した社会参加を展開していく可能性を模索することを目指した。

<事業内容>

全豊中市立小学校の3年生から6年生を対象に、国際理解教育の一環として外国語に触れ親しむ体験活動を実施した。その上で、次の3点を柱に据えた「共に学び、創造する心豊かなまちづくり」を推進した。

- ①教職員や子どもに地域に暮らす異なる言語、価値観、文化を持つ人との豊かな「であい」を提供した。
- ②その「であい」から、もっと知りたい、つながりたいという動機が芽生え、相互理解を促すためのコミュニケーション能力が双方向に向上するよう取り組んだ。
- ③学校に在籍する外国にルーツを持つ・外国籍の子どもたちの自尊感情がはぐくまれ、マイノリティの子どもエンパワメントになること、と同時にサポーター自身のエンパワメントにもつながる取り組みをした。

<実施体制>

<ボランティア：56人（24か国・地域）、コーディネーター5人>

今年度実施した外国語体験活動の授業の言語数は19言語にのぼった。外国語体験活動の中で英語の授業を希望された学校では、英語を第1、第2言語または生活・学習言語としてきたボランティアが中心となって授業を行った。内容についても英語やその他の言語の言語学習だけにとどまらず、それぞれのルーツの国の文化紹介をおり交ぜた形で授業を進めた。ボランティアの国籍や年齢、職業、在留資格、来日経緯、滞日歴、日本語の程度はさまざまであった。

また、今年度は昨年度に外国語体験活動に参加していた外国人ボランティア及び相談サービスの多言語スタッフがコーディネーターとなったことで、ボランティアの課題や悩みにきめ細やかな対応や、相談サービスとの連携を図ることができた。

<実施実績>

ボランティア数	56人
ボランティア活動総時間数	1,233時間
体験子ども数	約39,000人
ボランティア国籍数	24か国・地域 内訳 （フィリピン、中国、韓国、台湾、タイ、ブラジル、インド、インドネシア、ペルー、アフガニスタン、イギリス、パキスタン、バングラディッシュ、フランス、ベトナム、マレーシア、モロッコ、ルーマニア、ロシア、ドイツ、オランダ、シンガポール、イタリア、ネパール）

2. 国際教育推進事業

◆豊中市国際教育推進協議会

文部科学省は2005年8月に「初等中等教育における国際教育推進検討委員会」報告書をまとめた。国際関係や異文化を単に理解するのではなく主体的に行動するための態度や能力の基礎を育成する「国際教育」の必要性を唱え、「国際教育推進プラン」を実施する地域を指定した。豊中市もその一つとして、2008年度までの3カ年の事業に取り組んだ。それを引き継ぐ形で推進プロジェクト協議会を作り、豊

中市でユネスコスクールを設立、韓国の教員との交流などを行った。2010年度より「豊中市国際教育推進協議会」を立ち上げた。

2017年度も、9月7日の第1回協議会の開催のみとなり、具体的な活動や研究・研修はできなかった。

《豊中市国際教育推進協議会の開催について》

・協議会の開催 1回

第1回 9月7日 取り組みの方向性 規約と委員構成の確認、研究テーマの設定

◆帰国渡日児童生徒学校生活サポート事業・豊能ブロック協議会

＜豊能ブロック協議会構成団体＞ 計 23 団体

大阪府教育委員会	大阪府在日外国人教育研究協議会
池田市教育委員会	大阪府立学校在日外国人教育研究協議会
豊中市教育委員会	池田市在日外国人教育研究協議会
箕面市教育委員会	豊中市在日外国人教育推進協議会
能勢町教育委員会	箕面市在日外国人教育研究会
豊能町教育委員会	能勢町在日外国人教育研究協議会
豊能地区進路保障協議会	豊能町在日外国人教育研究協議会
池田市進路保障協議会	豊能地区人権教育研究協議会
豊中市進路保障協議会	(公財) とよなか国際交流協会
箕面市進路保障協議会	(公財) 箕面市国際交流協会
豊能郡進路保障協議会	池田市国際交流センター
豊能地区在日外国人教育研究協議会	

＜豊能ブロック 「多言語による進路ガイダンス」＞

実施日時	2017年 11月4日(土) 13:00~16:00 13:00~14:00 進路説明会 14:00~14:20 先輩体験談 14:30~16:00 個人相談会
場 所	とよなか国際交流センター
参加者数	87人 内訳 〔 児童生徒 11人/保護者 9人/通訳者 10人(6言語) 〕 〔 先輩 2人 /関係者 55人 〕

◆ルーツ教員研究会

1991年1月の日韓外相会談により、日本政府がこれまで国籍条項を設けていた教員採用の門戸を開けるようになった。しかし、その任用形態は「期限を付さない常勤講師」という完全な開放には至らなかった。そんな中で2012年より、この問題に関心のある大学教員や研究者とともに、在日外国人教員の聞き取りや実態調査をすすめてきた。各都道府県市町村において採用されている外国人教員の聞き取りや各地方自治体の教員採用実績等を中心に調査を始めて6年目に入った2017年度は、外国人教員への聞き取りや採用に関わる経緯の聞き取りとともに、各地方自治体における採用形態と実績について訪問調査を行った。また並行して、諸外国の教員採用における外国人採用の実態調査をすすめてきた。次年度は、これまでの聞き取りと調査事業をまとめ報告書にして出版すると同時に、この研究成果をもとに公開シンポジウムを開催する予定である。

【研究会開催日】(10/7以外はいずれも、とよなか国際交流センター)

	月日	内 容	人数(うち外国人)
1	4月21日(金)	今年度の調査計画、諸外国調査報告、年表作成と役割分担など	9(4)
2	7月2日(日)	教員採用試験実施要項調査、年表と分析、諸外国調査報告など	11(4)
3	9月14日(木)	年表と新聞記事、教員採用試験実施要綱と分析、外国籍教員Tさんの聞き取り報告、報告書執筆分担と進捗状況など	11(5)
4	10月7日(土)	韓国籍教員Sさんの聞き取り①、その他連絡事項(関西大学)	10(4)
5	11月26日(日)	韓国籍教員Sさんの聞き取り②、諸外国調査と年表確認、各地教委訪問報告、報告書原稿構成案など	11(5)

6	1月28日(日)	「91年」をめぐる原稿、諸外国調査、報告書構成など	10(3)
7	3月18日(日)	今年度のふり返り、今後の作業日程、原稿執筆にむけてなど	8(3)
		合計	70(28)

【研究内容】外国ルーツ教員や関係者の聞き取り、各自治体教育委員会の採用形態と採用実績調査、諸外国における外国籍教員の採用状況調査など

【諸外国調査】計16か国・地域(日本、韓国、中国、台湾、香港、フィリピン、シンガポール、オーストラリア、アメリカ合衆国、カナダ、イギリス、フランス、ドイツ、フィンランド、ノルウェー、南アフリカ)

3. 多文化子どもエンパワメント事業

(1) とよなか JSL 子ども日本語教室

2010年度に始まった「とよなか子ども日本語教室」から日本語指導者グループ「とよなか JSL」が生まれ、2012年度より、とよなか国際交流協会・とよなか JSL・行政の三者協働事業「とよなか子ども日本語教室を拠点とした学習に必要な日本語力・生活力の保障とそのシステム作りのための事業(「こどもにほんごプロジェクト」)」が3ヶ年計画として始まった。2017年度は4月から6月までは昨年度の体制で実施し、7月より、とよなか国際交流協会ととよなか JSL の二者により「とよなか JSL 子ども日本語教室」の運営を行った。実際の指導に関してはとよなか JSL の協力を得ながら進めた

◆とよなか JSL 子ども日本語教室の運営

豊中市内の日本語指導が必要な児童生徒を対象に日本語学習のための教室を週3回催し、適宜学校とも連絡を取り合った。ボランティアは教室の前後に随時ミーティングを開き、指導内容の確認や振り返り、子どもの情報交換などを行った。子どもの日本語指導者養成講座を修了したボランティアの指導力が継続的なかかわりのなかで向上し、さまざまな子どもの日本語力に応じたカリキュラムが作成されると同時に、子ども同士の相互学習にもつながった。また、日本語指導を必要とする子どものスムーズな受け入れや教室内での情報共有に努めた。

日本語学習相談は昨年度を下回った。これは、(1)新規の子どもの受け入れを「こども日本語教室」が行なったこと(2)教室に通う子どもの保護者、学校との連携がスムーズにいったため、通級者への相談対応の必要が少なかったためである。

実施日	毎週月曜 15:00~16:30、16:30~18:00
	毎週木曜 15:00~16:30、16:30~18:00
	毎週土曜 14:30~16:00、16:00~17:30
場 所	とよなか国際交流センター
期 間	2017年4月7日~2018年3月25日
回 数	113回
参加者数	子ども のべ 985人、 ボランティア のべ 1,017人 合計 2,002人
日本語学習相談	12件

(2) 多文化フェスティバル

国際教育の推進を図るため、豊中市国際教育推進協議会との共催で多文化フェスティバル(帰国児童生徒、在日コリアン児童生徒・渡日外国人児童生徒など、国際に関わる子どもやその保護者、また国際教育に関心のある先生が、一堂につどい、つながり、交流を深める機会)を例年開催している。

13回目を迎えた2017年度は、昨年度に引き続き、参加グループが主体的に体験型ブースを準備し、当日参加者が各ブースの工作や各国のあそび、楽器、衣装などの体験をした。韓国・朝鮮のことばとあそびのつどい、こども母語教室、学習支援「サンプレイス」、「学楽多」といったセンターで活動する事業の他、蛍池で活動する「団欒長屋プロジェクト」、池田市の外国にルーツを持つ子どものグループ「ケグリの会」、大阪府立東淀川高等学校など、市内・近隣各地で活動している子ども・若者たちや日々サポートしているおとながブース出店や活動紹介に関わった。ペルー料理の昼食も市内在住の外国人が準備・提供した。

また、大阪大学人間科学科および人間科学研究科よりインターンの学生が運営に携わり、新たな企画の実施なども試みた。

運営参加メンバー	豊中市教育委員会人権教育課・学校教育課、豊中市外国人教育推進協議会、とよなか国際交流協会、大阪大学インターン生
開催日	11月18日(土) 10時30分～15時00分
場 所	とよなか国際交流センター
参加人数	260人(うち子ども200人)

(3) 若者支援

- ※ 平成29年度文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業により実施。プログラム名「外国人の若者の生活力を地域ではぐくむ日本語サポート事業～わかもの×ちいき×いばしょ～プログラム」
- ※ 委託期間：2017年6月15日～2018年3月20日、※その他の期間は、自主財源で実施

外国にルーツをもつ人のなかでも、これまで対象事業の少なかった「若者世代」に対して、2013年度より様々な講座や活動を行ってきた。2013年度から2015年度までの3年間の活動(3つの取り組み、計6つの活動)の成果と課題をふまえ活動を行った、2016年度に引き続き居場所づくり、夜間中学校や定時制高校に通う若者を対象とした日本語支援、若者の相談を目的とした取り組みなどを実施した。また、行政関係部署や地域若者支援団体などで構成される事業運営委員会においても、場に関係する団体の委員を迎え、事業に関する情報共有や助言をいただくなどした。

◆事業運営委員会

実施日	2017年9月8日、12月18日、2018年3月12日(計3回)
メンバー	豊中市 教育委員会 人権教育室 課長 豊中市 教育委員会 帰国・渡日児童生徒相談室 担当者 豊中市 市民協働部 暮らし支援課 若者担当主幹 豊中市 人権文化部 人権政策課 課長 一般社団法人キャリアブリッジ 事務局長 大阪府立桜塚高校定時制 准校長 豊中市立第四中学校夜間学級 教頭 大阪大学 未来共生戦略機構 特任准教授 大阪大学 未来共生戦略機構 特任助教 地域人権学習会「ぼちぼち」元主催者・社会福祉士 公益財団法人とよなか国際交流協会 事務局長、事業担当者

◆外国人の若者の生活力を地域ではぐくむ日本語サポート事業～わかもの×ちいき×いばしょ～プログラム

I.～ほっとにほんご・若者のたまりば～若者×いばしょ

I-①にほんご de 語ろう

外国にルーツをもつ若者のための居場所「若者のたまりば」において、食事づくりや対話の活動を通じて日本語を使った交流、体験活動をおこなった。活動にあたっては、参加者が安心・安全が保障された場で、同じ外国にルーツをもつ仲間(ピア)と出会い、相互に交流できるような場づくりを心がけた。

内容面では、季節に合わせた日本語や料理、進路など、若者が興味関心を持ちやすいテーマの設定を心がけ、趣味に関する日本語表現や気持ちの表現、将来に関する日本語表現の習得を目指した。

実施日/期間	2017年4月1日～2018年3月31日 毎週土曜日 17時～20時 (※事業委託期間は、2017年6月15日～2018年3月20日)
対 象	外国にルーツをもつ若者
場 所	とよなか国際交流センター
回 数	30回
内容(一例)	にほんご de 話そう“表現!日本語で発信しよう!”&にほんご de 相談“生活の中の困りごとを日本語で話そう働く編” にほんご de 話そう“表現!日本語で発信しよう!”では、コーヒーの淹れ方や調理に必要な日本語を学び、とよなか国際交流センターで行われていた国際交流フェスタの参加者に向けて日本語で発信した。学習者は午前中にコーヒーの淹れ方に関する日本語を実際にコーヒーを淹れながら学習した。午後からは学習者自身がコーヒーを淹れながら、その方法を市民に向けて日本語で発信した。「これはどこのコ

	ーヒー?」「どうやって淹れるとおいしいの?」など、不規則に出される質問に日本語で答えていた。最初は緊張していた学習者も、最後には自信を持って受け答えが出来るようになっていた。【第12回 平成29年9月9日】
参加者数	若者 のべ 150人 (うち外国人 150人)
	講師 のべ 51人 (うち外国人 50人)

◇課外活動やアクティビティなど

「若者のたまりば」参加者のニーズにこたえて、通常の活動に加えて、以下のような取組を実施した。

実施日	内容	会場
2018年2月11日	日本語で表現! 私たちのバレンタイン!	JUSO Coworking

I-②にほんご de 相談

外国にルーツをもつ若者が、自分の身近な生活課題に基づいたテーマについて、日本語での交流・コミュニケーションを行った。実際の相談現場で「相談員」として活動するスタッフが講師を務めたため、参加者の生活上の悩みや興味関心などを話を引き出ししながら、就労や恋愛・家族関係など、多岐にわたるテーマで、日本語で自分の気持ちを表現したり、日本の労働環境や生活について知る機会を得たりすることができた。

実施日/期間	2017年4月1日～2018年3月31日 毎週土曜日 17時～20時 (※事業委託期間は、2017年6月15日～2018年3月20日)
対象	外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	30回
内容(一例)	にほんご de 相談“生活の中の困りごとを日本語で話そう働く編”では、学習者とともに淹れたてのコーヒーを飲みながら『働く』ことについて日本語で話した。普段の自分の仕事や、これから就きたい仕事などについて、参加者は自分自身の言葉で表現をし、また他の参加者の言葉に耳を傾けコミュニケーションをとりながら日本語を学習した。【第12回 平成29年9月9日】
参加者数	若者 のべ 64人 (うち外国人 64人)
	講師 のべ 45人 (うち外国人 45人)

◇課外活動やアクティビティなど

「若者のたまりば」参加者のニーズにこたえて、通常の活動に加えて、以下のような取組を実施した。

実施日	内容	会場
2018年2月11日	生活の中の困りごとを日本語で話そう商店街編②	JUSO Coworking

II. ～つちかうにほんご・地域連携～若者×ちいき

II-①. わかものにほんごサポート

地域に暮らす外国人の若者のなかでも、日本語習得の機会が限られると思われる全日制高校以外(定時制高校、通信制高校、夜間中学校など)に通う若者や、就労や就学への意識はあるものの、日本語能力に自信が持てずに足踏みしている若者について、読み書きを中心とした体系的な日本語の指導を実施した。学習者のニーズのあるテーマ設定や、日々の生活や今後の就労などで役立つ日本語の学習を提案するなど、学習者が興味関心をもって学ぶことが出来るような内容を心がけた。また、学習者が関わる他の日本語活動との情報共有や他機関との連携も実施した。

実施日/期間	2017年4月1日～2018年3月31日 毎週日曜日 (※事業委託期間は、2017年6月15日～2018年3月20日)
対象	全日制以外の高校もしくは夜間中学に通う外国にルーツをもつ若者
場所	とよなか国際交流センター
回数	15回
内容(一例)	豊中市立青少年自然の家にて『自然の中の日本語』をテーマに日本語学習を行った。学習者は普段楽しんでいる豊中を飛び出し、大阪府能勢町の山奥で、自然に触れながら感じたことを日本語で表現したり、他の学習者の感じたことを聞き取りコミュニケ

	<p>ーションをとり、日本語を学んだ。また開催場所である施設の説明や利用上の注意点なども日本語で聞き取り学習した。聞き取れなかった部分、分かりづらい部分を繰り返し聞いたり、講師と共に学習したりしながら日本語を学んだ。</p> <p>普段なかなか話す機会の少なかった学習者同士が講座の中のやり取りを通じてコミュニケーションをとり、講座がすすみ関係性が深まるにつれ、学習者はより積極的に自身の思いなどを日本語で発言するようになり、意欲的に日本語学習に取り組むことができた。【第7回 平成29年12月16日】</p>
参加者数	<p>若者 のべ 62人 (うち外国人 62人)</p> <p>講師 のべ 32人 (うち外国人 17人)</p>

◇課外活動やアクティビティなど

「にほんご de 相談」参加者のニーズにこたえて、通常の活動に加え、以下のような取組を合宿形式で実施した。

実施日	内容	会場
2017年12月16日 12月17日	自然の中の日本語	豊中市立青少年自然の家わっぱる

Ⅲ. ～つなげるにほんご・人材養成～子ども・若者日本語支援ボランティア養成講座

Ⅲ-①. ボランティア・コーディネーター養成講座

外国にルーツをもつ若者支援事業運営にあたって、今年度は、外国人の若者の支援活動に意欲を持って継続的に関わることのできる次世代の人材を育成する事をテーマに年度の後半に集中的に行った。

実施日	テーマ	講師	参加者数 (うち外国人)
1月14日(日) 14時～17時	パーソナルスペース	栗本敦子さん (えふらぼ)	9 (6)
2月16日(金) 18時～20時15分	日韓の間で考える「表現の不自由」	岡本有佳さん (編集者)	35 (6)
2月18日(日) 14時～17時	思いを伝えよう感じよう	栗本敦子さん (えふらぼ)	10 (6)
2月26日(日) 14時～16時	居場所の可能性	宮田隼さん (コミュニティハウス・ひとのま)	35 (3)
3月4日(日) 14時～17時	安心社会と信頼社会	栗本敦子さん (えふらぼ)	5 (2)
合 計			94 (23)

Ⅳ. 外国にルーツをもつ若者主催！ WAKAMONO フェスタ 2017

Ⅳ-②. WAKAMONO フェスタ 2017

取組Ⅰ～Ⅲの活動内容報告・成果の発信を通じて、地域市民及び行政関係者、まだつながりを持っていない外国人の若者当事者などへの活動周知と課題の共有を行い、若者自身が企画運営を行うことで、取組で習得した日本語を活用しながら、地域社会への参加を目指す事を目的としたイベントを行った。

プログラムの内容は一年間の活動のまとめの発表と、取組に参加している若者たちが普段行っている活動を地域の人とワークショップ形式で行い、なぜ若者にはたまりばの形での日本語学習支援が必要かということについて日本語で地域の人と共有した。

WAKAMONO フェスタ 2017	
実施日/期間	2018年3月11日
対 象	外国にルーツをもつ若者、活動に関心のある地域市民、学校・行政等関係者、若者支援民間団体関係者など
場 所	しょうないガダバ
内 容	豊中市庄内地域において外国にルーツを持つ若者が本事業で身につけた力を発信しながら、何が出来たかを地域で活動する人々と共に考え、ワークショップを行った。
参加者数	8人 (うち外国人5人)

(4) てーげーコミュニケーションズ (多文化エンパワメント・メディアプロジェクト) (※自主事業)

昨年度の多文化子どもエンパワメント・メディアプロジェクト「てーげー部」の活動を、色々な活動のニッチな部分に入り込んだ映像制作やメディア活動をおこなう集まり「てーげーコミュニケーションズ」として再編成した。今年度は、新たな映像作品としてとよなか国際交流協会の 25 周年にむけてプロモーションビデオの制作に着手しようとしたが、メンバーみながそれぞれに仕事などで多忙を極め、1 回しか集まって活動することが出来なかった。

実施日/期間	2017 年 5 月 21 日
対 象	外国にルーツをもつ若者および映像作成やメディア活動に興味がある人
場 所	とよなか国際交流センター
内 容	映像作成のためのミーティング
参加者数	のべ 7 人 (うち外国人 4 人)

(5) 生活困窮者自立支援事業 子ども学習広場「学楽多」

昨年度に引き続き豊中市暮らし支援課の委託を受けて、生活困窮世帯の子どもの就学・就労のための学習支援事業「子ども学習広場『学楽多 (がらくた)』」を行なった。今年度は 2 年目ということで委託の契約手続きがスムーズに行われ、4 月 28 日にはスタートができた。学習支援はとよなか国際交流センター (毎週金曜 17:00~19:00) としょうないガダバ (毎週火曜 18:00~21:00) の市内 2 か所で行ってきた。今年度の「学楽多」は 2 か所を合わせて 95 回行い、教科学習にとどまらず料理活動、カードゲーム遊び、工作等によって、仲間づくりとともに多様な学びができた。特に、今年度は 8 月に 2 回連続の養成講座を開催し、ボランティアの確保に努めることで、子どもの学習支援がより充実したものになった。また、子どもの数も 7 名増えて活気ある活動になってきた。年間の子どもの参加人数は延べ 419 人、ボランティアがのべ 243 人による学習支援を行った。また、多文化フェスティバルへのブース参加や花火大会鑑賞会やクリスマス会等を開催し有意義な活動となった。一方で、保護者の生活相談や教育相談も数多く行い、支援者の中で課題を共有し課題解決に向けた取り組みもできた。

【実施回数と年間のべ人数】

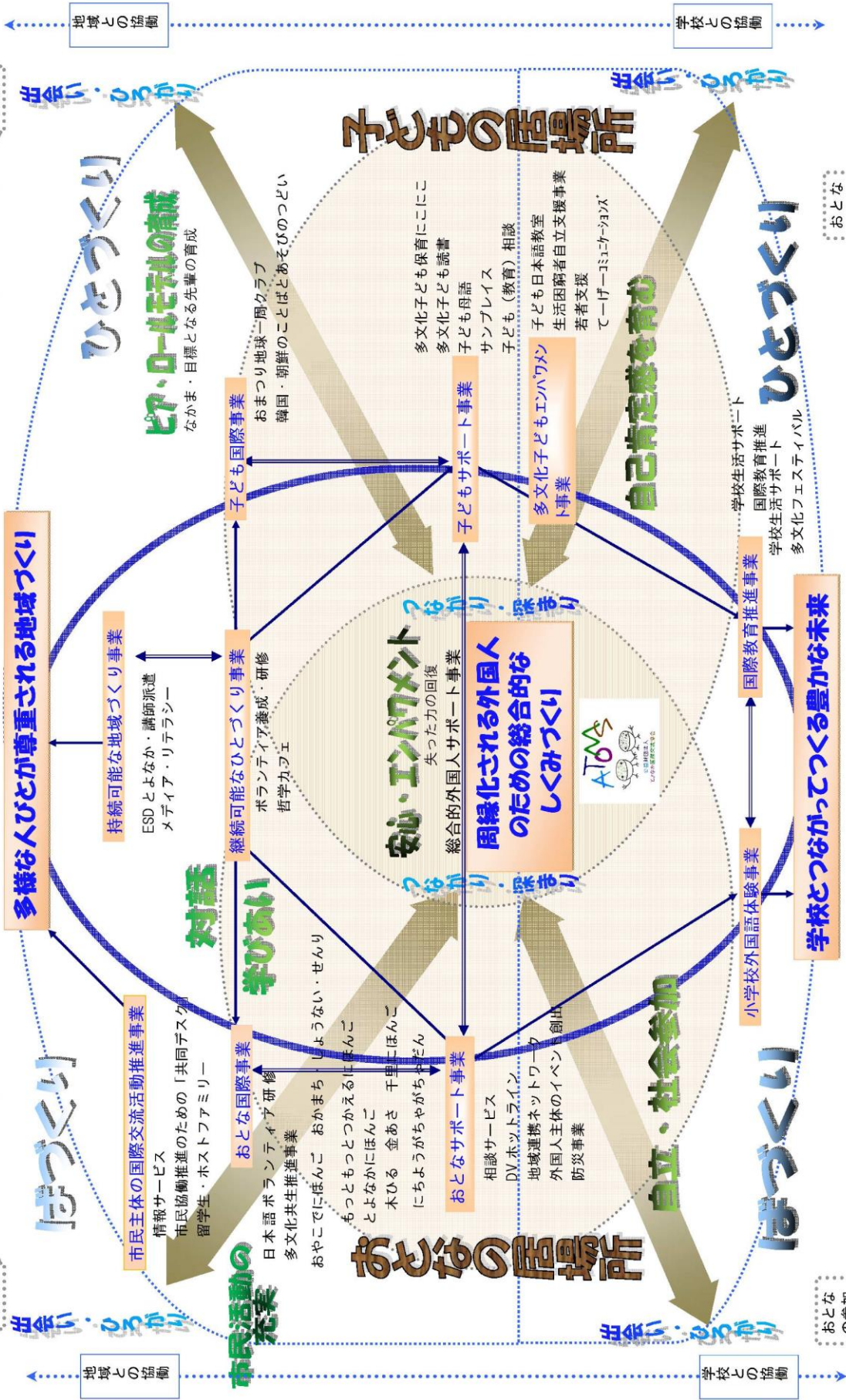
場所	実施曜日	実施時間	参加のべ人数 (うち外国人)	のべ回数
国際交流センター	金曜 (4/21~3/23)	17:00~19:00	子ども 308 (151) ボランティア 199 (51)	48 回
しょうないガダバ	火曜 (4/18~3/27)	18:00~21:00	子ども 111 (36) ボランティア 104 (44)	47 回
	総合計		子ども 419 (187) ボランティア 303 (95)	95 回

2017年度

公益財団法人とよなか国際交流協会事業体系

公益目的事業：地域の市民の主体的な参加による、
人権尊重を基調とした多文化共生社会を創出する事業

○ は協会最重点課題である
総合的外国人支援事業の
範囲をします。



IV. 施設管理受託事業

◆とよなか国際交流センター貸室業務

国際交流・男女共同参画目的利用の市民や一般利用者に対して公平・公正、安全に貸室業務を行った。

年間貸室利用者数	60,249人	前年度比	2,082人	増
全利用者のうち外国人の利用者数	24,639人		1,698人	増
年間貸室件数	6,028件	全貸室との比率	230件	増
国際交流目的での貸室件数	5,017件		83.2	%

◆受託事業 とよなか国際交流センター指定管理業務（豊中市からの受託）の施設貸出業務について

① 2017年度(2017年4月～2018年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率

	開館日数	件数	人数	
			合計	うち外国人
4月	26	447	4,326	1,855
5月	26	471	4,765	1,621
6月	26	499	5,394	2,311
7月	27	525	4,766	1,749
8月	26	497	3,522	1,238
9月	26	553	8,512	3,875
10月	27	544	4,918	1,757
11月	25	541	4,985	2,163
12月	24	465	4,688	1,972
1月	24	479	4,493	2,068
2月	24	485	4,680	1,829
3月	27	522	5,200	2,201
合計	308	6,028	60,249	24,639

② 2017年度(2017年4月～2018年3月)月別・部屋別 使用件数・使用率（単位 上段：件、下段：%）

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
		会議室1	件数	45	50	49	46	46	54	57	51	44	55	50
	使用率	57.7%	64.1%	62.8%	56.8%	59.0%	69.2%	71.3%	68.0%	61.1%	76.4%	69.4%	70.4%	65.4%
会議室2A	件数	35	43	38	40	44	44	35	42	40	35	33	42	471
	使用率	44.9%	55.1%	48.7%	49.4%	56.4%	56.4%	43.8%	56.0%	55.6%	48.6%	45.8%	51.9%	51.0%
会議室2B	件数	40	49	43	42	46	42	40	44	35	34	36	40	491
	使用率	51.3%	62.8%	55.1%	51.9%	59.0%	53.8%	50.0%	58.7%	48.6%	47.2%	50.0%	49.4%	53.1%
会議室2C	件数	40	47	41	44	49	47	45	45	35	44	38	52	527
	使用率	51.3%	60.3%	52.6%	54.3%	62.8%	60.3%	56.3%	60.0%	48.6%	61.1%	52.8%	64.2%	57.0%
会議室3	件数	39	47	46	46	45	50	54	52	49	55	50	49	582
	使用率	50.0%	60.3%	59.0%	56.8%	57.7%	64.1%	67.5%	69.3%	68.1%	76.4%	69.4%	60.5%	63.0%
会議室4	件数	54	63	66	53	56	64	66	59	53	51	52	63	700
	使用率	69.2%	80.8%	84.6%	65.4%	71.8%	82.1%	82.5%	78.7%	73.6%	70.8%	72.2%	77.8%	75.8%
会議室5	件数	54	46	48	60	53	56	52	58	48	55	54	61	645
	使用率	69.2%	59.0%	61.5%	74.1%	67.9%	71.8%	65.0%	77.3%	66.7%	76.4%	75.0%	75.3%	69.8%
料理室	件数	31	29	39	35	36	43	48	37	38	38	35	42	451
	使用率	39.7%	37.2%	50.0%	43.2%	46.2%	55.1%	60.0%	49.3%	52.8%	52.8%	48.6%	51.9%	48.8%
音康ルーム	件数	41	33	42	49	44	44	39	50	41	39	40	42	504
	使用率	52.6%	42.3%	53.8%	60.5%	56.4%	56.4%	48.8%	66.7%	56.9%	54.2%	55.6%	51.9%	54.5%
和室	件数	25	20	30	20	23	34	31	29	17	25	30	27	311
	使用率	32.1%	25.6%	38.5%	24.7%	29.5%	43.6%	38.8%	38.7%	23.6%	34.7%	41.7%	33.3%	33.7%
プレイルーム1	件数	22	21	24	27	23	32	29	29	26	25	22	20	300
	使用率	28.2%	26.9%	30.8%	33.3%	29.5%	41.0%	36.3%	38.7%	36.1%	34.7%	30.6%	24.7%	32.5%
プレイルーム2A	件数	15	15	18	34	18	22	26	23	21	13	25	16	246
	使用率	19.2%	19.2%	23.1%	42.0%	23.1%	28.2%	32.5%	30.7%	29.2%	18.1%	34.7%	19.8%	26.6%
プレイルーム2B	件数	6	8	15	29	14	21	22	22	18	10	20	11	196
	使用率	7.7%	10.3%	19.2%	35.8%	17.9%	26.9%	27.5%	29.3%	25.0%	13.9%	27.8%	13.6%	21.2%
総件数		447	471	499	525	497	553	544	541	465	479	485	522	6028
開館日数		26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308
使用率		44.1%	46.4%	49.2%	49.9%	49.0%	54.5%	52.3%	55.5%	49.7%	51.2%	51.8%	49.6%	50.2%

③ 2017年度(2017年4月～2018年3月) **国際交流目的** 月別・部屋別 会議室使用件数・使用率
(単位 上段：件、下段：%)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
会議室1	件数	43	50	49	44	43	52	55	48	42	50	46	51	573
	使用率	55.1%	64.1%	62.8%	54.3%	55.1%	66.7%	68.8%	64.0%	58.3%	69.4%	63.9%	63.0%	62.0%
会議室2A	件数	35	35	37	37	43	43	33	38	31	33	27	38	430
	使用率	44.9%	44.9%	47.4%	45.7%	55.1%	55.1%	41.3%	50.7%	43.1%	45.8%	37.5%	46.9%	46.5%
会議室2B	件数	39	39	40	38	44	39	35	40	34	30	30	36	444
	使用率	50.0%	50.0%	51.3%	46.9%	56.4%	50.0%	43.8%	53.3%	47.2%	41.7%	41.7%	44.4%	48.1%
会議室2C	件数	35	38	38	38	48	45	38	39	28	35	32	45	459
	使用率	44.9%	48.7%	48.7%	46.9%	61.5%	57.7%	47.5%	52.0%	38.9%	48.6%	44.4%	55.6%	49.7%
会議室3	件数	35	44	44	40	41	46	52	50	47	51	47	48	545
	使用率	44.9%	56.4%	56.4%	49.4%	52.6%	59.0%	65.0%	66.7%	65.3%	70.8%	65.3%	59.3%	59.0%
会議室4	件数	53	63	65	52	51	64	63	59	50	51	52	63	686
	使用率	67.9%	80.8%	83.3%	64.2%	65.4%	82.1%	78.8%	78.7%	69.4%	70.8%	72.2%	77.8%	74.2%
会議室5	件数	50	46	46	53	52	54	48	49	47	51	49	54	599
	使用率	64.1%	59.0%	59.0%	65.4%	66.7%	69.2%	60.0%	65.3%	65.3%	70.8%	68.1%	66.7%	62.0%
会議室総件数		290	315	319	302	322	343	324	323	279	301	283	335	3736
開館日数		26	26	26	27	26	26	27	25	24	24	24	27	308
会議室使用率		53.1%	57.7%	58.4%	53.2%	59.0%	62.8%	57.8%	61.6%	55.3%	59.7%	56.2%	59.1%	57.8%

④ 使用料の収入の状況：

とよなか国際交流センター使用料（平成29年(2017年)4月～平成30年(2018年)3月納付分）

計 2,231,900 円

2017年度（2017年4月～2018年3月）安全管理の状況

	①窓の開閉	②パーティションの開閉事故	③電球取り替え時の事故	④その他の事故	事故があった場合の日時・状況・内容等
4月	無し	無し	無し	無し	
5月	無し	無し	無し	無し	
6月	無し	無し	無し	無し	
7月	無し	無し	無し	無し	
8月	無し	無し	無し	無し	
9月	無し	無し	無し	無し	
10月	無し	無し	無し	無し	
11月	無し	無し	無し	無し	
12月	無し	無し	無し	無し	
1月	無し	無し	無し	無し	
2月	無し	無し	無し	無し	
3月	無し	無し	無し	無し	

V. その他

◆視察受け入れ等

	日時	受け入れ	人数
1	2017年7月16日	(公財)札幌国際プラザ	1
2	2017年8月1日	千里高校スーパーグローバルハイスクール & ヒューライツ大阪	37
3	2017年8月22日	全国市町村国際文化研修所 (JIAM)	25
4	2017年10月26日	大阪女学院大学	36
5	2017年11月7日	大阪大学文学部	11
6	2017年11月13日	NPO 法人女性と子どものエンパワメント関西 (JICA 国別研修 (タイ) の受け入れ)	32
7	2017年11月15日	大阪府人権協会	2
8	2017年12月11日	大阪大学人間科学部	2
9	2017年12月12日	克明小学校3年生	8
10	2017年12月21日	岸和田市国際親善協会	15
11	2017年12月24日	大阪大谷大学	1
12	2018年1月11日	大阪大学未来共生プログラム	4
13	2018年1月29日	蛭池小学校5年生	64
			計 238人

◆「地域体験学習 CUL (カル)」職場体験

豊中市立中学校生徒の受け入れ 10月31日、11月2日に2校、4人(第3、第6中学校)、11月14日、16日に2校、4人(12中、13中) 計8人

◆事業評価会

市民参加型の事業評価会を2月24日に例年通り開催し、今年度の成果や課題について発表した(参加者56人)。終了後は参加したボランティアや関係者との懇親会を実施。

◆新春のつどい

1月28日に「新春のつどい」を開催し、センター・協会事業の紹介、関係者間の交流を行った。センター・協会事業の関係者以外にも市役所職員や議員(国、府、市)、駐日領事らの参加があった。また、実施にあたって、近隣の事業者からの協力を得ることができた。

◆その他会議等の参加・協力

豊中市関係会議(25団体)

克明小学校区連絡会	識字・日本語とよなか連絡会	豊中市子ども若者自立支援部会
みんなあつまれわくわくランド実行委員会	地域支援保育士例会	地域福祉ネットワーク会議
豊中市地域就労支援センター	子ども施策推進連絡会議	豊中市公益市民活動推進会議
豊中市国際教育推進協議会	豊中市在日外国人教育推進担当者会議	豊中市子ども相談支援ネットワーク会議
豊中市家庭教育力向上会議	豊中市人権相談機関ネットワーク会議	豊中市DV防止ネットワーク会議
豊中市教職員組合	豊中市地域社会福祉活動計画推進委員会	豊中市子ども読書活動連絡会
豊中市保健師会	とよなか市民環境会議	豊中市子ども若者支援協議会
豊中市南部地域活性化ラウンドテーブル	豊中市協働推進本部会議幹事会	人権関係施設連絡会議
豊中市防災会議	豊中市障害者差別解消支援地域協議会	

その他（16団体）

大阪大学大学院臨床哲学研究科	国際交流協会ネットワーク会議おおさか	大阪府自治体国際化推進連絡会議
豊中青年会議所	豊中市民生委員・児童委員協議会（四地区）	大阪府行政相談窓口ネットワーク会議
大阪大学未来戦略機構	豊中まつり実行委員会	世界人権宣言豊中連絡会議
関西子どもの権利条約フォーラム実行委員会	全国外国人教育研究協議会(全外教)大阪大会実行委員会	南北코리아と日本のともだち展実行委員会
「ひと・まち・出会い夏祭り」実行委員会	大阪府人権協会	国際交流の会とよなか（TIFA）
大阪府行政書士会豊能支部		

◆職員研修

事務局職員の業務推進能力・資質の向上をはかるため、以下研修・勉強会に参加（もしくは主催）した。（協会主催の研修会は㊦印で太字／自己啓発支援については㊧印で太字） 47回

実施日	内容（主催）
5月19日	「差別の交差性～在日コリアンと西欧のムスリム女性のケースから」（ヒューライツ大阪）
5月23日	「豊中市憲法記念市民の集い」（豊中市人権政策課）
6月7日	「世界人権宣言豊中連絡会議 記念講演 世界人権宣言と豊中市の人権行政」（世界人権宣言豊中連絡会議）
6月17日	「移住労働者と連帯する全国フォーラム基調講演「日本における難民認定制度と日本社会の未来」
6月24日	「識字・日本語ボランティアのためのステップアップ講座」（大阪市立総合生涯学習センター）
7月10日	「多文化多民族共生人権研究集会」
7月14日	㊦「「相談」の基礎について考える」（講師：大阪府立大学 山中京子さん）
7月22日	「とよなか地域創生塾公開講座 多文化共生とは何か？難民・移民とともに生きるには～」（とよなか都市創造研究所）
8月4日	「大阪府災害時外国人支援者研修」（大阪府国際交流財団）
8月19日	「やさしい日本語」（大阪府国際交流財団）
8月31日	㊦「事業担当職員向け研修 ソーシャルワークの価値と倫理」講師：東洋大学 門美由紀さん
9月15日	㊦「多文化・多言語支援における相談とは」（講師：大阪府立大学 山中京子さん）
10月1日	「平成29年度文化庁日本語教育大会大阪大会」（文化庁）
10月1日	「地域日本語教育コーディネーターフォローアップ研修」（文化庁）
10月11日	㊦「職員全体研修 協会事業について」
10月5、21日	豊中版ジョブライフサポーター養成講座（豊中市）
11月21日	「相談事例研究会～ストレングス視点をいかした相談支援におけるスーパーバイス」（大阪府人権協会）
11月24日	「暴力にさらされる少女たちと共に生きる～著書「裸足で逃げる」での出会いから～」（すてつぷ）
11月28日	「子ども虐待の現状と課題～関係機関に求められる対応」（豊中市）
12月8日	ワークショップ「ひょうたん島」（国際交流協会ネットワークおおさか）
12月8日	「外国にルーツを持つ子どもとその親たち」（国際交流協会ネットワークおおさか）
12月16日	㊧「コリアタウンでコリアンルーツの教員と多文化共生を語ろう！」（ヒューライツ大阪）
12月22日	㊦「セクシュアル・ハラスメントについて」（豊中市人権政策課）
1月14日	㊦子ども・若者事業職員&ボランティア研修①「パーソナルスペースについて」（栗本敦子さん）
2月18日	㊦子ども・若者事業職員&ボランティア研修②「思いを伝えよう、感じよう」（栗本敦子さん）
3月4日	㊦子ども・若者事業職員&ボランティア研修③「安心社会と信頼社会」（栗本敦子さん）
1月23日	多機関連携のワールドカフェ（豊中市）
1月26日	「ハラスメントの相談と対応セミナー」（アトリエエム）
2月15日	「DV被害による様々な精神状態や精神疾患があるDV被害者とかわる時の支援のあり方について」（豊中市）
3月3日	㊧「マインドフルネス一日セミナー」（スマイルコミュニケーションオフィス）
公益法人・総務関係研修	
4月13日	総務経理基礎講座
5月22日	「役員登記について」
6月12、13日	「公益財団法人の会計の基礎」
7月7日	給与計算実務特別講習会
7月11日	公益法人簿記経理セミナー
子ども・若者支援事業担当者のためのスーパービジョン（スーパーバイザー：吉嶋かおりさん（臨床心理士））	
6月13日、7月23日、8月29日、9月25日、10月30日、12月4日、1月22日、2月20日、3月27日	